

昭和二十四年三月十九日 昭和二十六年四月二十五日印刷 (毎月一日発行)  
第三種郵便物認可 昭和二十六年五月一日発行

# 建築（社会）

日本建築協會

VOL-32

1951

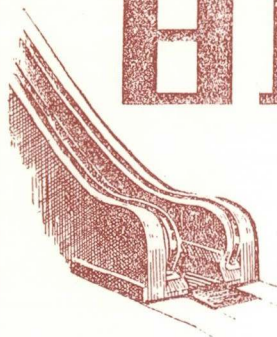
5

*The Architectural  
Association of Japan*

HITACHI

快適な乗心地！

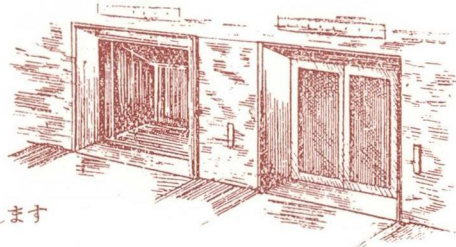
# 日立エレベータ



各種 エレベータ

電動階段

ダムウエータ



新設は勿論保守修理を御引受け致します

日立の最新技術を誇る

## 冷暖房装置

全館冷暖房には

ターボ冷凍機を…

各室冷房には

ユニットクーラーを…

工事施行一式 設計資料御入用の節は最寄の営業所へ御照合下さい

東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 札幌

日立製作所



事実が示す期界の名声赫々たる  
ゴム質優秀、光沢美麗、色彩多量  
耐久力絶大、足触快適、施工誠実

# 桜ゴム床材

責任施工

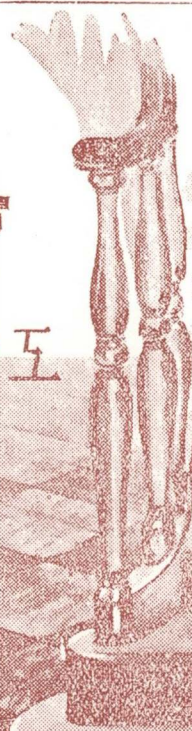
ゴムマット 1M×12尺  
ゴムタイル 1尺角・5寸角  
階段マット 185CM×28CM  
ゴム製ハンズアップ

大阪市東区備後町三ノ四

櫻物産株式会社大阪支店

電話 船場 ② 1437・1438  
4681・5767

本社 東京・営業所 福岡・札幌



時の言葉……………2

新建築紹介……………3

CASE STUDY HOUSE

神戸銀行協会

放送局和歌山支局

某料亭

海南映画劇場

和歌山城の記……………増田国之助…15

紀州古建築めぐり……………日比野道男…17

和歌祭に就て……………今津 吉兼…19

紀州郷土玩具巡り……………松島 藤太郎…21

漆と建築……………雑賀 紀光…24

漆工芸……………冷水 清一…25

建造物、樹木の強敵、白蟻に就て  
前田 保永…26

紫煙室……………28

随想〔四間取りの記の一節〕伊藤 正文

建築と音楽 伊藤 貞亮

建築業会社の設計部長より小田島兵吉

建築雑観 通 亭四郎

バビラド3題 中 尾 保

アスファルト防水工事仕様書  
関西建材会編…33

建積算便覧（第14回）……………35

会員動静……………37

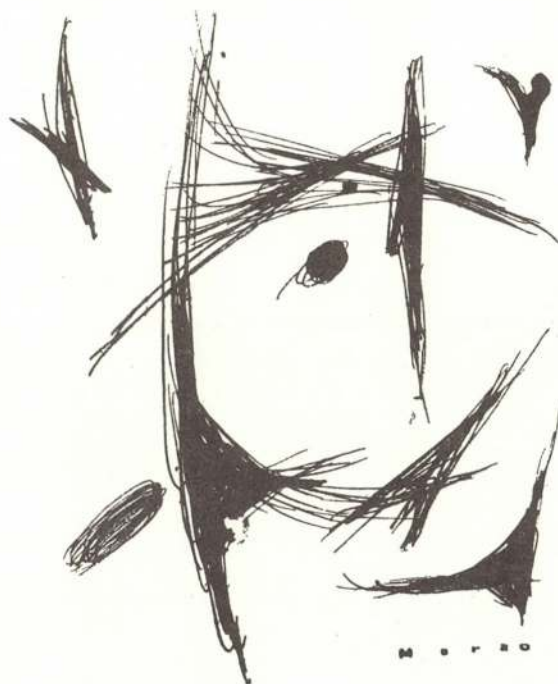
会 務……………39

会 告……………40

建 築 と 社 会

1951

5



## 時 の 言 葉

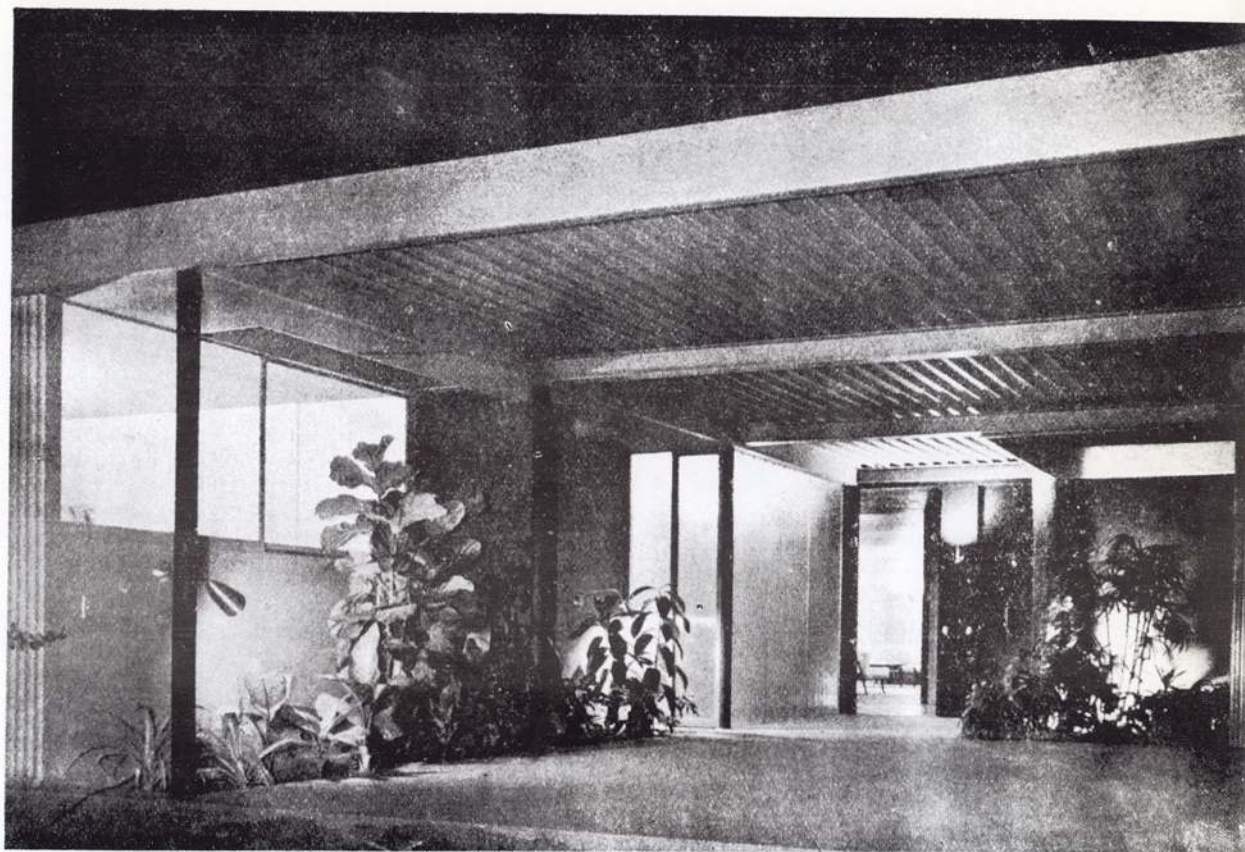
五月の青空のもと、急激に大都会にはコンクリートタワーが林立し、ベテスタルパイルの転圧用の黒煙が立ちのぼり、世は平和国家建設のための不燃都市造成への促進が軌道にのりつゝあるの観を呈しはじめているが、その反面最近又建築用各種資材の入手難から更に進んで物価高と、敗戦当時を思ひ起すかの様な建築界の情勢に立到りつゝある如くである。その時、晴天のへきれきとも云ふべきマ元師の退任の悲報が飛び、マ元師は日本を去られた。その理由は政治問題にあるとされているが、今後の社会情勢が如何に推移されるだらうか。軽々しく予想は許されないが、それに従つて建築界も直ちに反映させられることであらうことは想像にかたくない。時代の波は常に前進しつゝある如くで、その前進に何らかの疑惑の念を思はしめるものがある。

吾々建築技術者は常にその技術を以て社会情勢に連応する準備が必要であるが、その反面この新緑青葉の薫風に自然人として、或は緑の享樂に、古をしのぶ京の都の周辺に、はたまた紀州路の遍歴に、忙中閑を利用して足をのばすこともまた必要であらう。そしてその行く路々で巡り合ふ先人古人の手になる古建築の手法の精巧さ、古社寺の優美さ、古城趾の堅牢さにしばしその当時のおもかげをしのぶことも、それが古建築であるだけに近代建築に比すべき、また

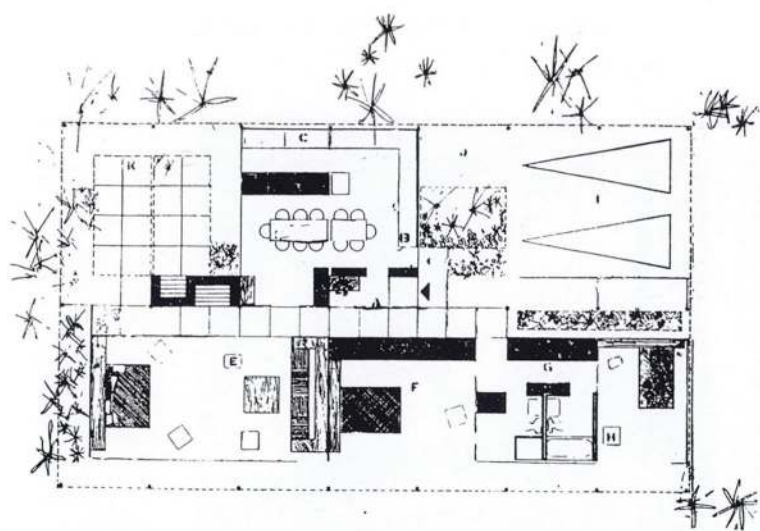
近代建築に受入れるべき何等かの良さを随所に見出されることであらう。いたづらに古きが故に捨てるべきものとすべきでないものが得られるであらう。古建築の良さと近代建築との対比を常に吾々は省みる必要があるのではなからうかと痛感するものである。

(神明宮社殿 在長野縣 昭和11.9、国宝指定)





## CASE STUDY HOUSE 1950



設計 Raphael Soriand

サンタモニカの連山を遙かに見渡す絶好の地に建てられたモデル住宅。居間の寝室は眺望の良い方向に取られ、台所兼食堂がプランの中心になつて居る。その左、居間の上は戸外で食事できる様考えられ暖炉の設備がある。(次々頁写真参照)

構造は3吋半の鉄柱が10呎×20呎の一定間隔に建てられ、それに鉄桁を渡して居る。

Art and Architecture Dec, 1950

上図 自動車置場から玄関を見る。入口左の壁は波型ガラス。

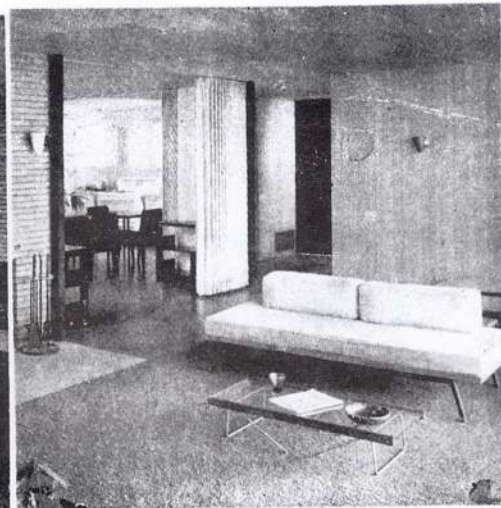
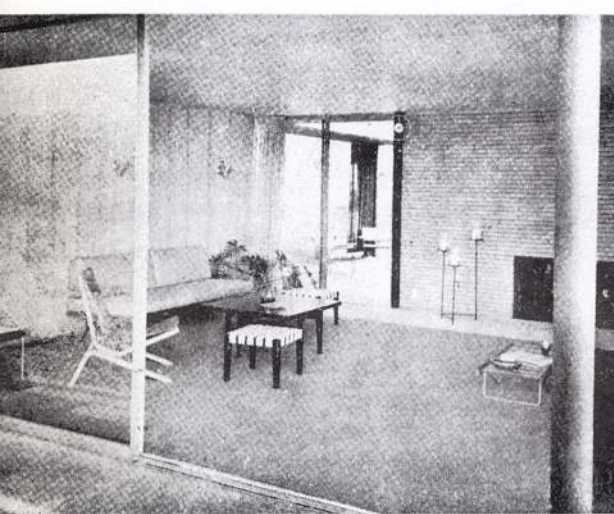
下図 平面図

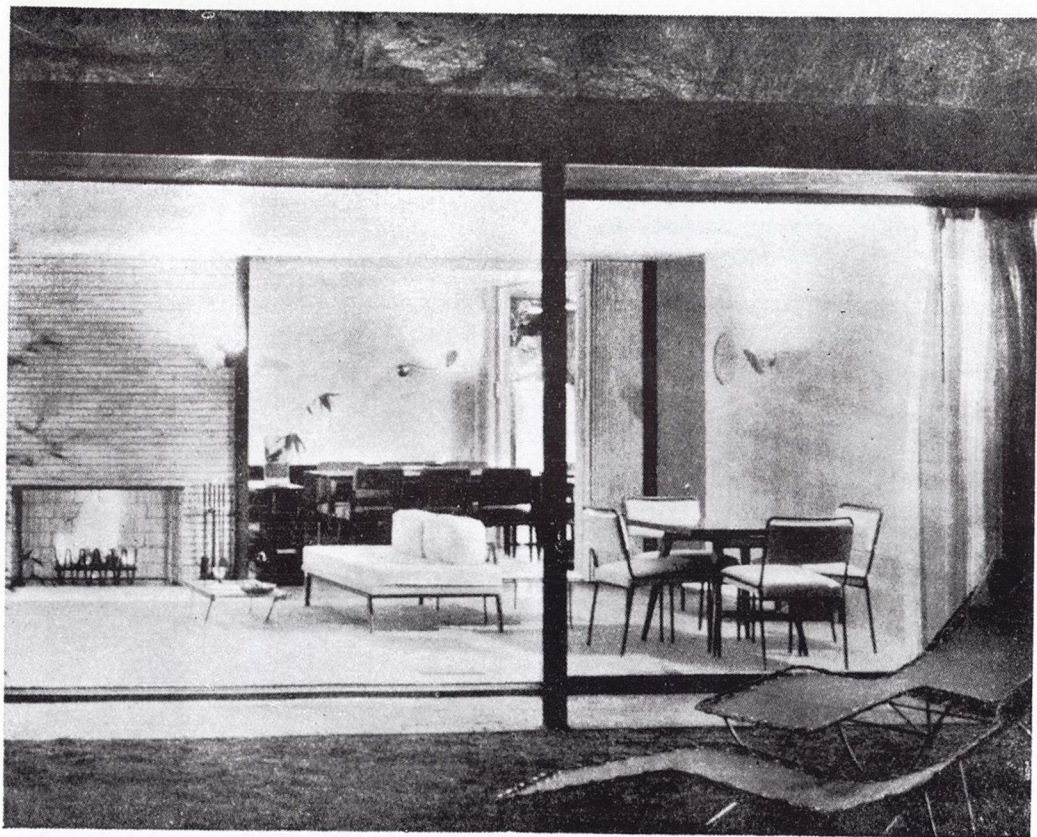


上図 庭より居間及食事室等を見た所。単純化されたデザインの中に調和が保たれて居る。

左下図 庭より居間を通して dinning patioを見る。左方に見えるソファアはベッドになる。

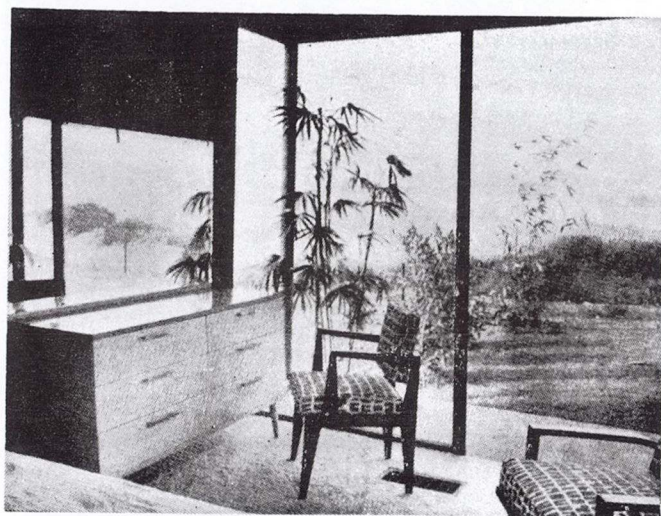
右下図 居間から食事室兼台所を見る。境は新製品の折疊戸。





右下図 dinning patio (戸外の食事室)

左下図 寝室。



# 神戸銀行協会

位置 神戸市生田区江戸町九一番地ノ一

設計 日建設計工務株式会社

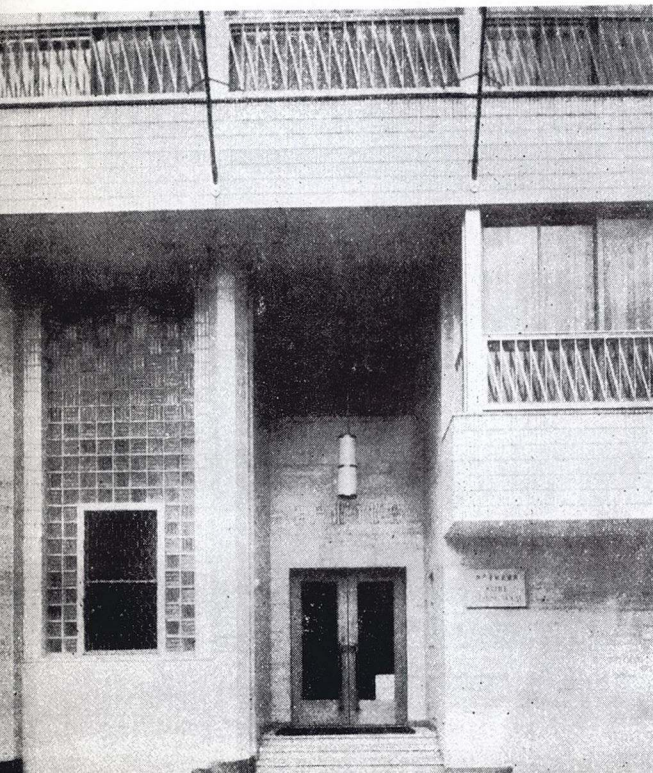
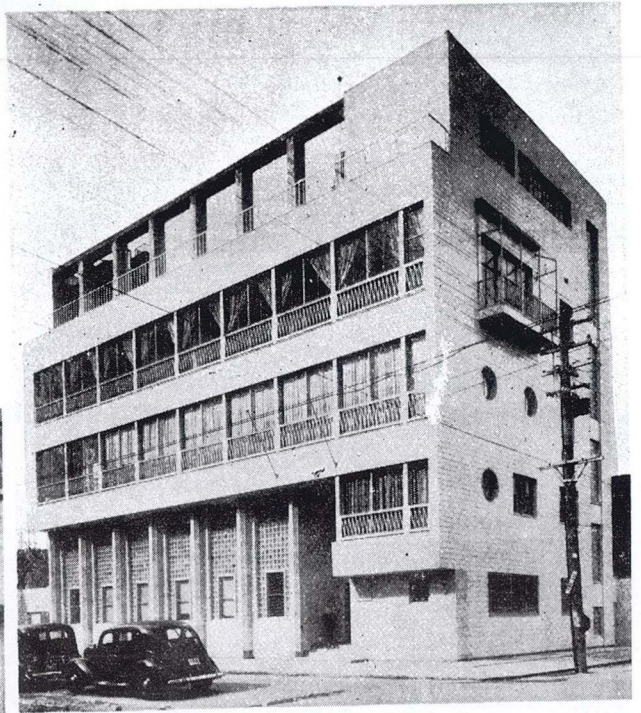
岡 橋 作 太 郎

工期 自昭和25年2月8日

至昭和26年1月31日

階 数 地 上 4 階 地 下 1 階

本建物は神戸銀行協会，神戸手形交換所，神戸銀行倶楽部の三者の用途に充てられるものである。目下陸屋根となつている。第四階は将来増築の上集会所に充てる予定で計画されている。



|      |     |           |
|------|-----|-----------|
| 建築面積 | 屋 階 | 4.55坪     |
|      | 屋 上 | 26.72 //  |
|      | 3 階 | 95.73 //  |
|      | 2 階 | 95.57 //  |
|      | 中2階 | 54.48 //  |
|      | 1 階 | 89.52 //  |
|      | 地 階 | 109.84 // |
|      | 延 坪 | 477.41 // |

## 施 工

### 建築工事

大成建築株式会社

### 電気、設備工事

近畿電気工事株式会社

### 衛生、暖房工事

須賀工業株式会社

### エレベーター工事

東洋オーチスエレベーター株式会社

### 塗装工事

竹林塗装工業株式会社

### 家具、敷物工事

株式会社大丸神戸店

阪急室内装飾株式会社

株式会社高島屋

内外木材工芸株式会社

清水製作所

宮崎木材工業株式会社

七洋木材工芸株式会社

三上工作所

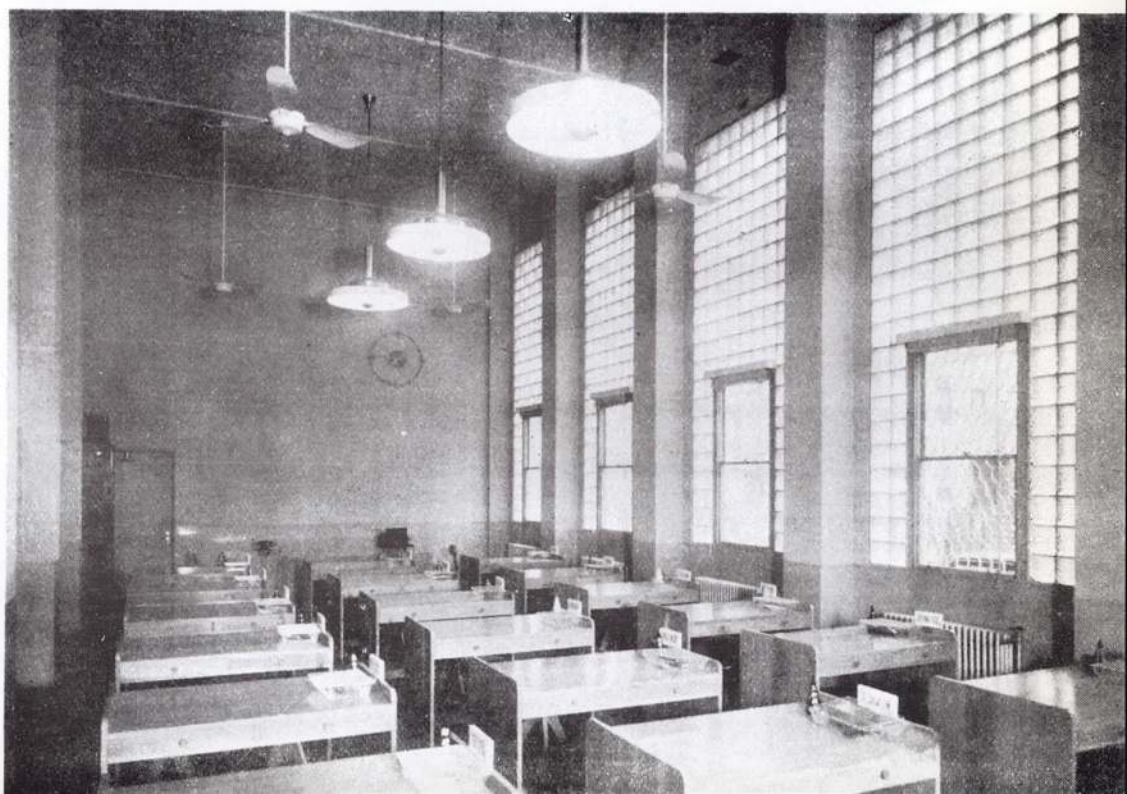
窓掛及椅子張裂地工事

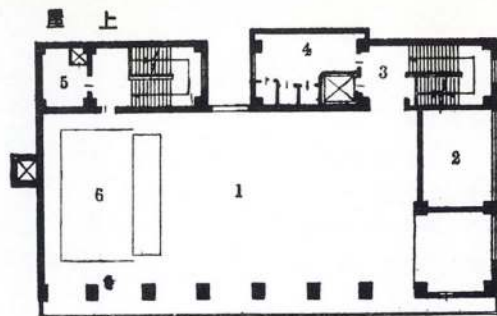
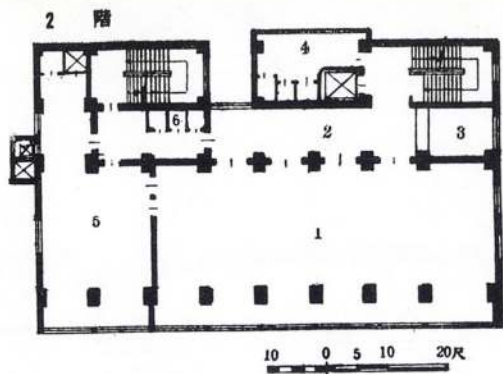
川島織物工業株式会社

玄関廣間

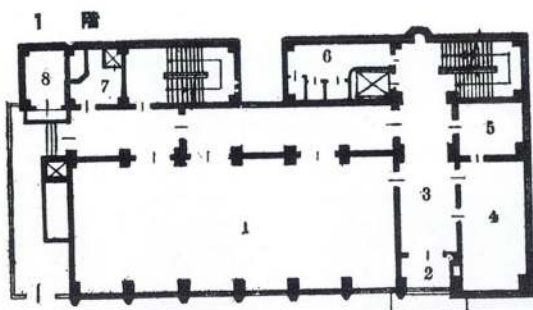
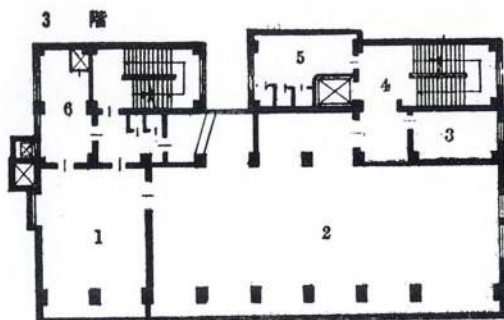


手形交換室

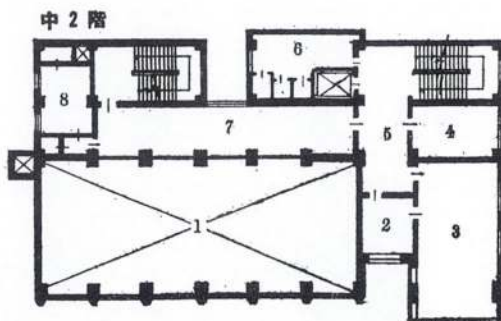
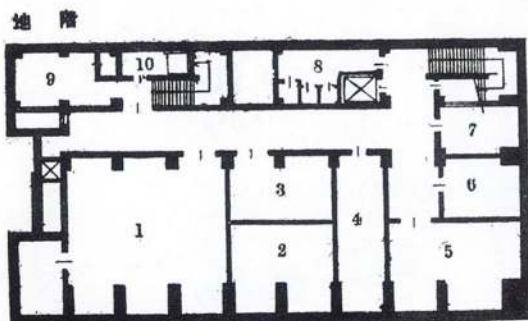




| 2 階     | 3 階       | 屋上      |
|---------|-----------|---------|
| 1 大 食 堂 | 1 理 事 会 室 | 1 屋上遊歩場 |
| 2 広 間   | 2 ロ ビ ー   | 2 休 憩 室 |
| 3 衣 帽 室 | 3 応 接 室   | 3 ホ ー ル |
| 4 便 所   | 4 ホ ー ル   | 4 便 所   |
| 5 厨 房   | 5 便 所     | 5 物 置   |
| 6 物 置   | 6 配 膳     | 6 インドアー |



| 地 階       | 1 階       | 中2階         |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 ボイラー室   | 1 手形交換室   | 1 吹 抜       |
| 2 浄化槽     | 2 玄 関     | 2 応 接 室     |
| 3 電 気 室   | 3 ホ ー ル   | 3 小 会 議 室   |
| 4 書 庫     | 4 事 務 室   | 4 電 話 交 換 室 |
| 5 倉 庫     | 5 書 記 長 室 | 5 ホ ー ル     |
| 5 理 髪 室   | 6 便 所     | 6 便 所       |
| 7 バッテリー室  | 7 湯 沸 場   | 7 参 観 席     |
| 8 便 所     | 8 守 衛 室   | 8 宿 直 室     |
| 9 従 業 員 室 |           |             |
| 10 浴 室    |           |             |



## 構造概要

鉄筋コンクリート造

## 外装

タイル及イタリー産トラバーチン、背面色モルタル塗  
玄関、広間  
床。人造石塗研出  
壁。テラゾーブロック  
天井。プラスターベッキ塗

## 内装

手形交換室。床リノリウム

①壁、天井コルク撒  
二色ベッキ仕上、

大食堂。床フローリングブ  
ロック、壁ベニヤ天井、プ  
ラスターベッキ塗

ロビー。床ゴムタイル貼、

②壁プラスターベッキ  
スチツプル仕上、天井、プ  
ラスターベッキスチツプル  
仕上

特別食堂。床フローリングブ  
ロック、壁抄張ベッキコン  
ビネーション仕上、天井抄  
張ベッキ塗

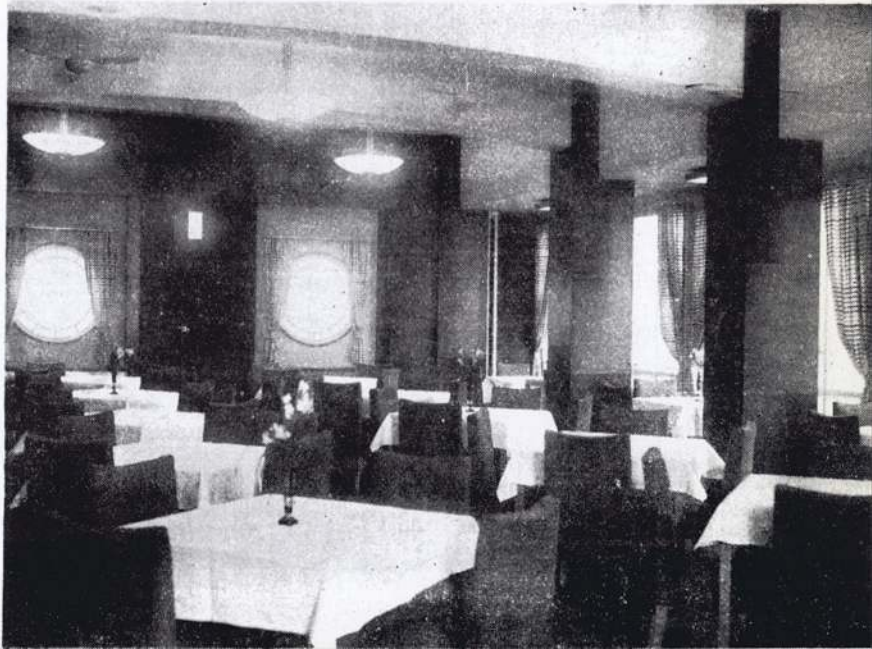
(ロビー)



(特別  
食堂)



(大食堂)





## 放送局和歌山支局

構造概要 木造平家屋根鉄板瓦棒葺（2寸5分勾配）

外 装 セメントモルタル塗色セメント吹付

内 装 事務室及放送室応接室一床堅木椽甲板ステイン市木ベンキ塗、壁天井及漆喰塗仕上

放送室及準備室一壁プラトン貼ベンキ吹付天井デ

ックス貼ボーチ及広間及廊下及洗面所床人造石研

出定規目地巾木人造石研出壁天井漆喰塗仕上

最高棟高 会議室 24尺 事務室 16尺75

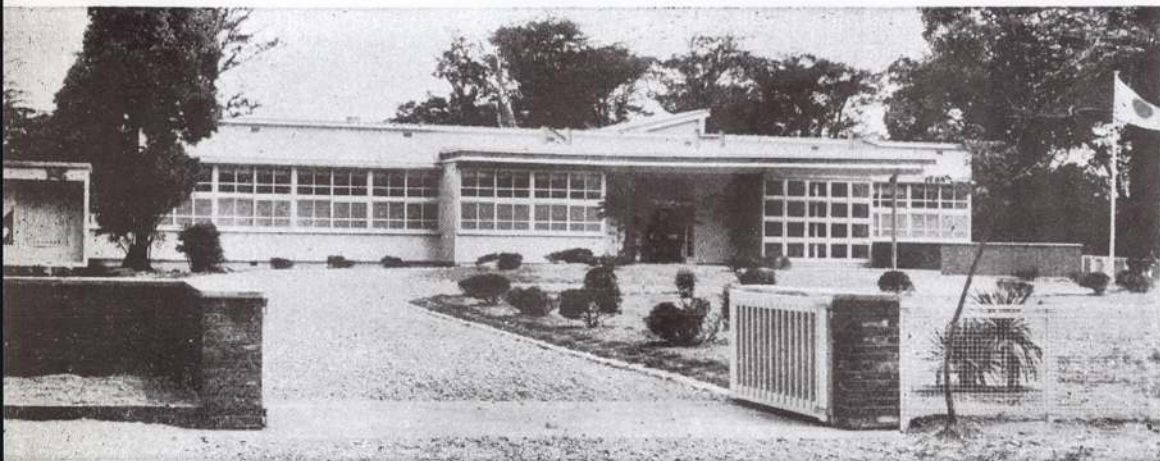
軒 高 11尺5

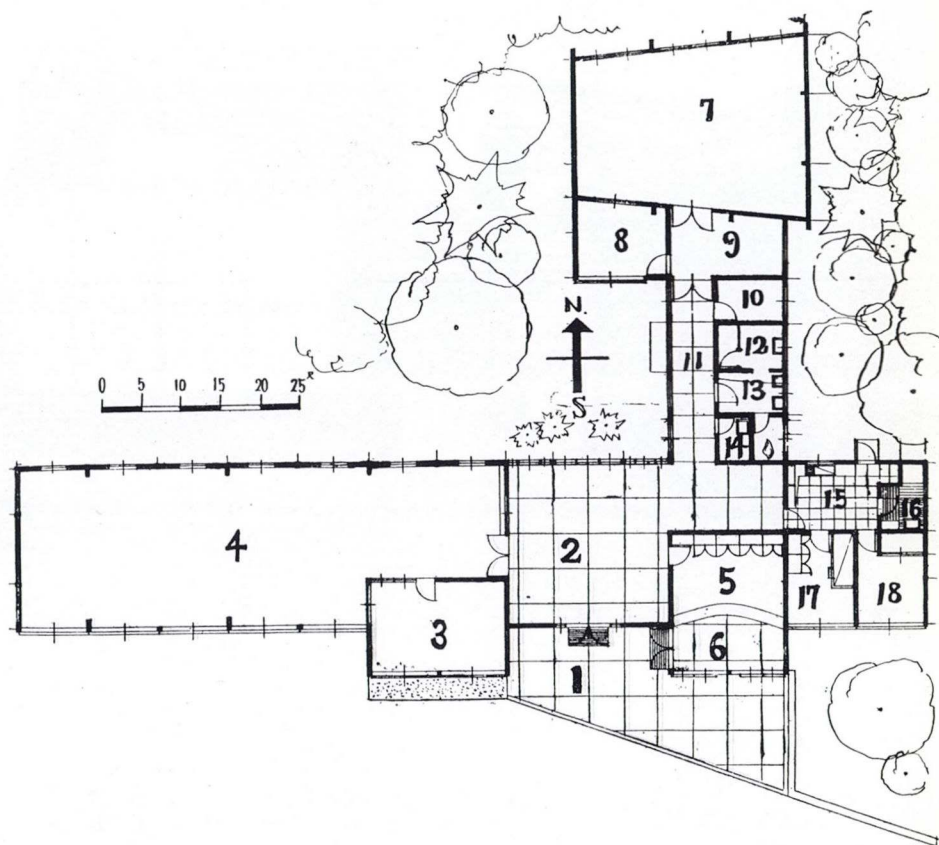
設 計 前川国男建築事務所

施 工 清水組和歌山出張所

位 置 和歌山市一番町和歌山公園内

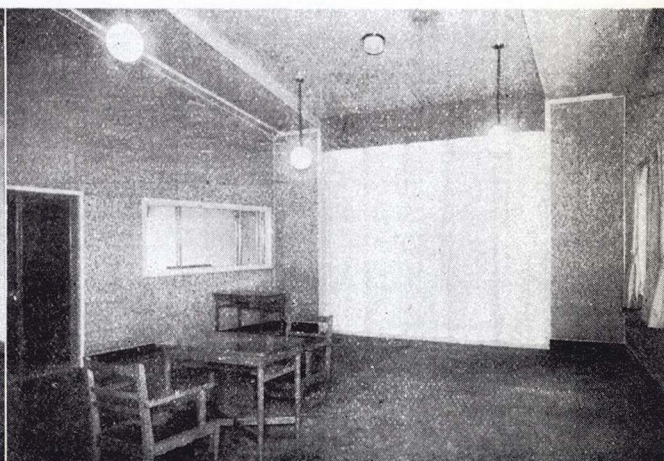
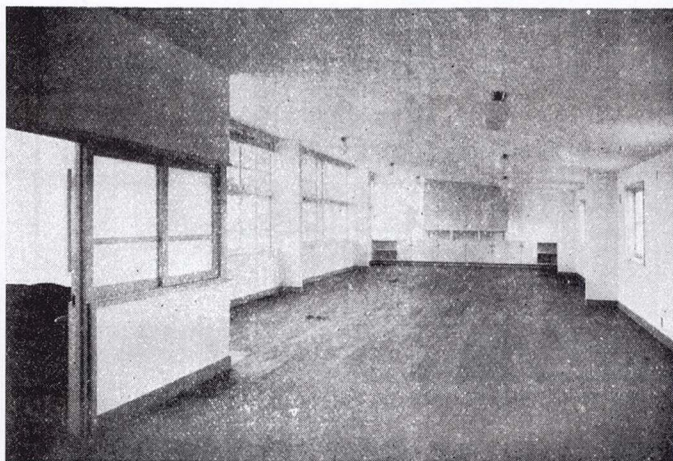
建築面積 112.40坪

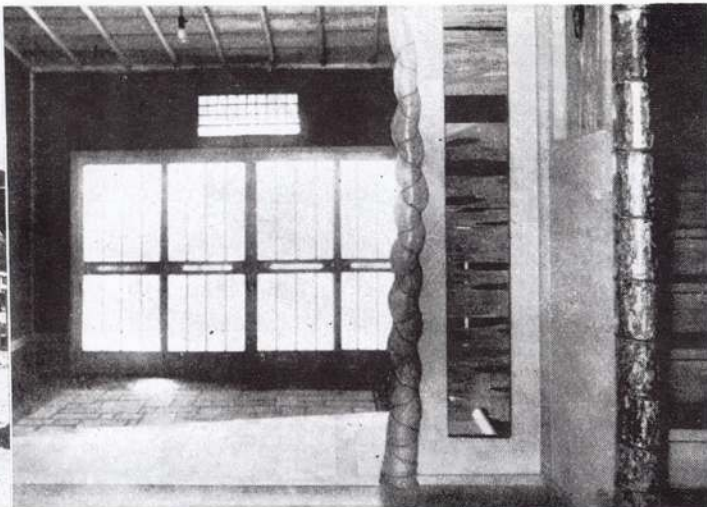




平面図説明

|        |        |       |         |       |
|--------|--------|-------|---------|-------|
| 17 宿直室 | 13 洗面所 | 9 応接室 | 5 工作相談室 | 1 ポーチ |
| 18 小使室 | 14 物置  | 10 倉庫 | 6 客溜    | 2 広間  |
|        | 15 炊事室 | 11 廊下 | 7 放送室   | 3 所長室 |
|        | 16 浴室  | 12 便所 | 8 準備室   | 4 事務室 |





## 某 料 亭

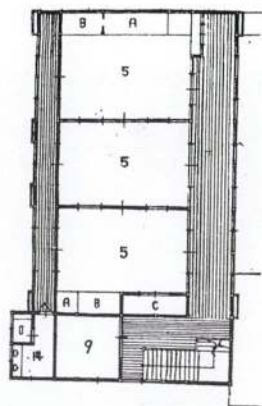
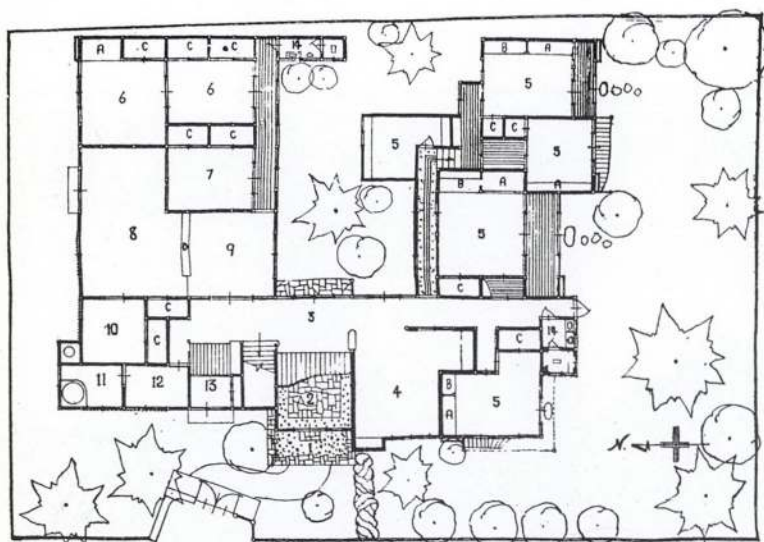
### 平面図説明

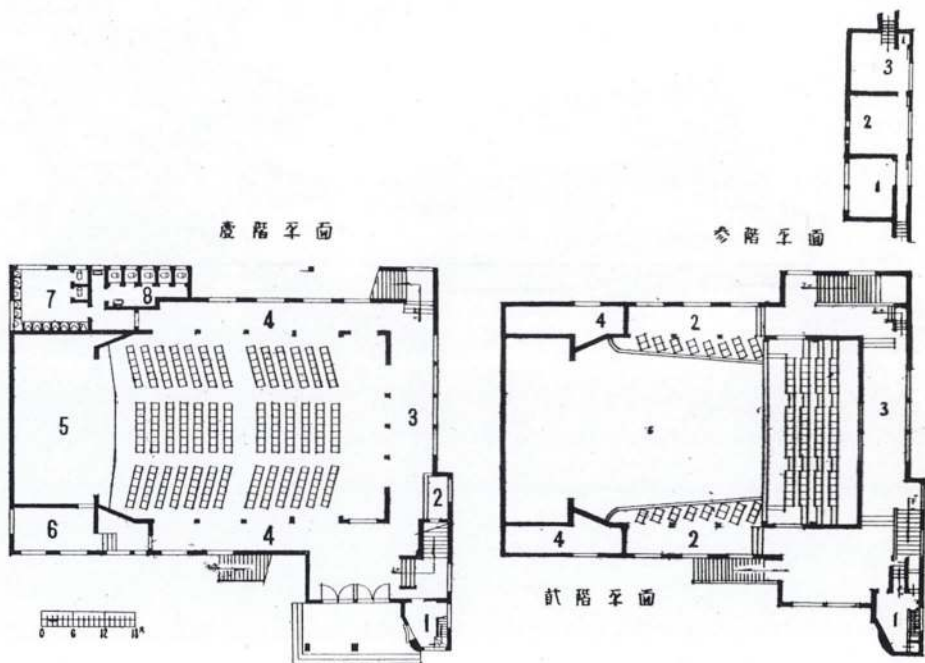
- |          |          |       |
|----------|----------|-------|
| 1. 玄関ポーチ | 8. 調理室   | A. 床  |
| 2. 玄関    | 9. 配膳室   | B. 床棚 |
| 3. ホール   | 10. 男子部屋 | C. 押入 |
| 4. 応接間   | 11. 浴室   |       |
| 5. 客間    | 12. 脱衣室  |       |
| 6. 居間    | 13. 内玄関  |       |
| 7. 女中室   | 14. 便所   |       |

設計施工 島村建築事務所

位 置 和歌山市内

建築面積 一階84.3坪二階39坪合計123.3坪





## 海南映画劇場

### 平面図説明

#### 三階

- 1 控室
- 2 映写室
- 3 技術者室
- 4 フィルム室

#### 二階

- 1 事務室
- 2 廊下
- 3 ホール
- 4 控室
- 5 吹抜

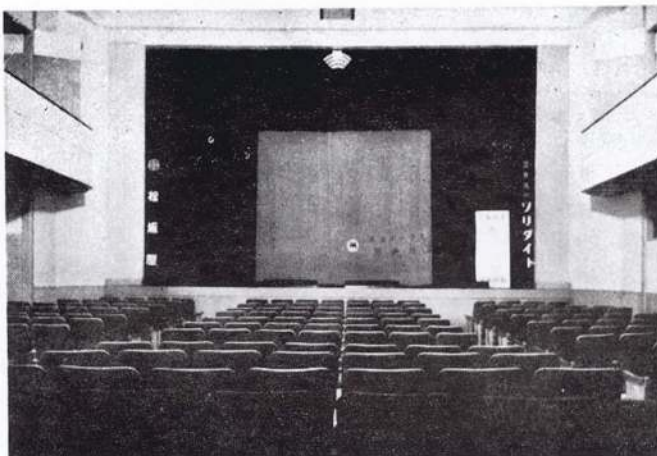
#### 一階

- 1 事務室
- 2 売店
- 3 ホール
- 4 廊下
- 5 舞台
- 6 控室
- 7 男便所
- 8 女便所

設計施工 前窪工務店

位置 和歌山市内

建築面積 1階 121坪  
2階 111坪  
3階 14坪  
合計 246坪

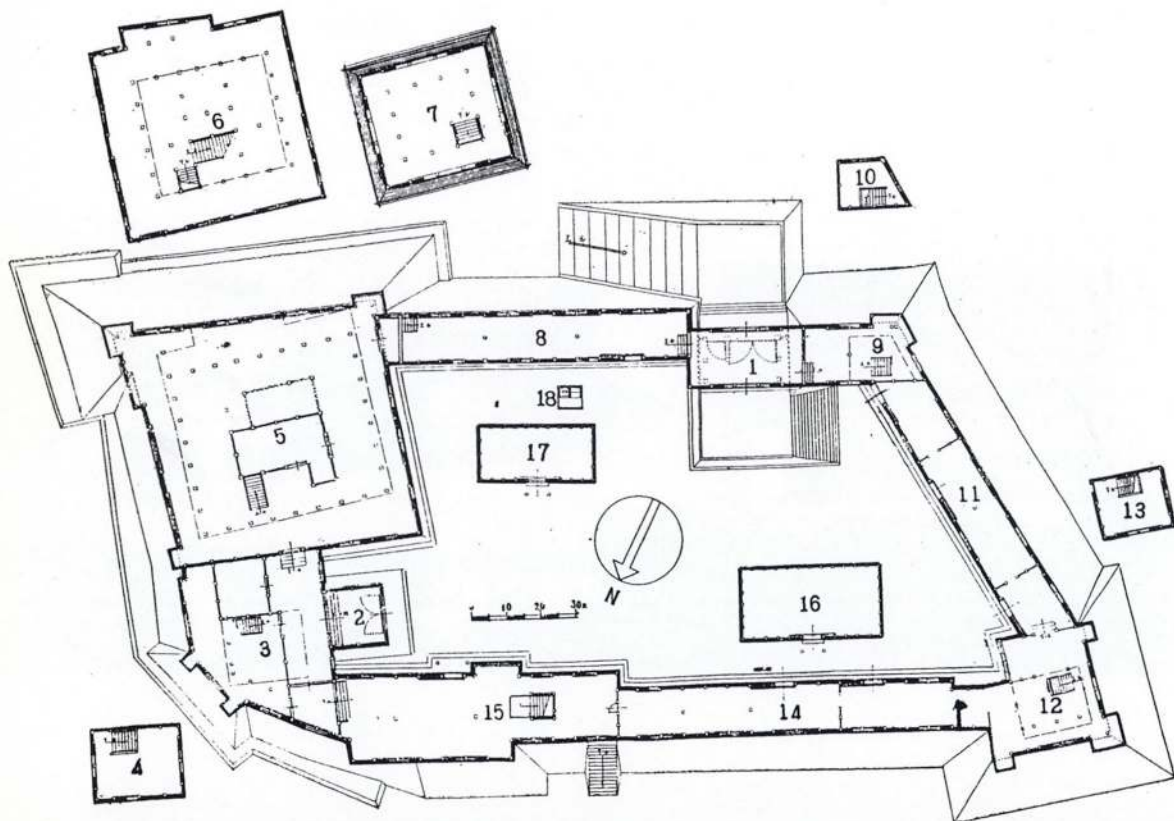




# 和歌山城天守閣 (謄失前)

## 平面図説明

- |       |   |            |            |             |             |       |       |       |       |       |       |   |
|-------|---|------------|------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 1. 楠  | 門 | 4. 小天守二階平面 | 7. 天守閣三階平面 | 10. 西南角櫓平面図 | 13. 西北角櫓平面図 | 16. 倉 | 庫     |       |       |       |       |   |
| 2. 表玄 | 関 | 5. 天       | 守          | 閣           | 8. 多        | 門     | 11. 多 | 門     | 14. 多 | 門     | 17. 倉 | 庫 |
| 3. 小  | 天 | 守          | 6. 天守閣二階平面 | 9. 角        | 櫓           | 12. 角 | 櫓     | 15. 多 | 門     | 18. 便 | 所     |   |



## 虎伏山竹垣城

紀の川の左岸、吹上の浜の東即ち今の和歌山市の中央に極めて眺望のひらけた丘があり、あたかも虎の臥したる如く、虎伏山と言はれた。天正十三年豊臣秀吉が根来寺僧兵との戦に副将である弟秀長の功を賞して、大和一国の外に和泉、紀州を加領せしめ此処に垣を廻らして居城を構えしめたが、虎伏山に因んで竹垣の城と名付けられた。

普請奉行は藤堂高虎で、天正十三年三月工を起し、その年中に本丸、二の丸を完成し、翌十四年五層造り桃山初期を表現する上層高欄造りの天守を築いた。城の名を一名和歌山城と称えるのはその地名より出たことは勿論であるが、元は若山城とも言はれた。

## 和歌山城の変遷

秀長の築いた和歌山城は、慶長五年関ヶ原の役後、浅野幸長に領せられ、これに修築を加えて内濠を拡張し石畳を完成して難攻不落の城となつた。その後元和五年徳川家康第十子頼宣この地に封ぜられて徳川御三家として南海の重鎮となり、更に城域の拡張を図つて元和七年銀二千貫を以て普請に着手、従来東南の岡口にあつた追手を北の一の橋口に改め、守備に不利な南丸を縄張りして高い石畳を築造した。然るにこの計画は江戸城も驚く大規模であつた為幕府の疑惑を招いて問題となつたので頼宣は智将安藤直次を江戸に遣はして弁疏せしめるなどのことあつたが、その後再び井原町より西え水軒の海に至る新堀の開鑿に着手したところ復た幕府の眼に触れるところとなり、西新堀でこれを中止した。(今の「堀止」電車停留所)しかし兎も角これで和歌山城は一応完成したのであるが、明暦元年十一月(明暦二年とも言う)西丸前築地寺の屋敷より火を発して二の丸建物を全焼し、文化十年十一月には二の丸大奥向の館より失火烏有に帰し、更に弘化三年七月二十六日屋八ツ時本丸天守閣に落雷して創建以来の五重天守閣を始め小天守、続矢倉四棟、藏三ヶ所、多門六十三間を焼失した。

天守炎上により当時明敏を以て諷はれた家老山中筑後は天守の火を尻目に早飛脚を江戸に飛ばして焼失のうわさの伝らぬうち改築許可を申請したが、当時幕府は天守閣再建を許さなかつた為、機先を制して改築として許可を得たのであつた。幕府も薄々は覺つたかも知れぬが、親藩たるの故を以て許したのでもあろう。

そこで翌四年九月十日天守復興の工を起し、山中筑後以下多数御用係を承つて霜月十六日扇の芝の普請場に新初式を行い、嘉永二年十一月朔日上棟、三年六月朔日に

満作御清祓の祝儀あり、旧観に復したのである。

## 城の結構

城の結構は丘頂に本丸あり、大小天守閣を配してその北辺に二の丸、二の丸の西に西の丸を、更に本丸の西北に砂の丸、西南に南丸、東北に三の丸を以て天守、本丸を囲んで石垣、内濠をめぐらし、その延長凡そ十八町十七間、これに北東の正門即ち一の橋門、北西に吹上門、西に追廻門、南西に不明門、南東に岡口門の五門を設けて城の固めとした。

本丸台地は海拔三百六十尺、三方に石の階段を設けこれを登り詰めればやがて、二層楼の小天守、玄關を入つて南折すれば、三層の天守閣に達し、登閣展望すれば一望十里、潤達仕快限りなく淡路、四国・根来・和歌の浦、箕島沖を一望におさめることができる。この両閣の間に干飯藏、兵糧藏、弾薬庫等を設け、台地の北方丘腹に水の手構、黄金井戸が造られ、籠城万に備えられた。

北麓二の丸には御館、諸局、諸司を置き、西の丸には書院、高御殿、能舞台等を設け、後庭紅葉谿の泉石、築山、浮御堂等数奇を凝らしたものであつた。砂の丸は勘定所、御書方役所及び馬場があつた。(二の丸及び西の丸については24年11月号、栗林氏記事参照されたし)

以上内郭と内陸を隔てた東北二方を丸の内として、重臣諸士の屋敷を置き、南西方面にも侍屋敷を

設け、更にその外郭東北西三方に外濠を掘り、本町九丁目を大手門とした。

以下旧記につき構造その他を拾つてみることにしたい。

## 和歌山城の事

本丸 山根石垣廻り大凡六十二間、地坪七百二十坪にして天守楠木門閤にありて二の丸玄關地形より二十二間半高し特に大天守閣台地最も高くその石垣台は、六尺五寸間にて

|    |          |       |
|----|----------|-------|
| 東側 | 市十一間二尺八寸 | 高四間半  |
| 南側 | 市十一間二尺八寸 | 高五間   |
| 西側 | 市十間半二尺一寸 | 高七尺五寸 |
| 北側 | 市十間半二尺五寸 | 高四尺五寸 |

(註、西櫓台地より)

(註、小天守台地より)

となつて敷地は正方形でなく少しく歪んでいる。天守もまた正方形でない。即ち下の重に於て

|    |        |    |         |
|----|--------|----|---------|
| 東側 | 十間半    | 南側 | 十一間二尺二寸 |
| 西側 | 十間二尺五寸 | 北側 | 十間三尺    |

この面積百十八坪となつてゐる(平面図参照)

## 和歌山城の記

## 増田国之助

圖象女  
五帝龍  
上棟天大  
手置帆  
產殃知命

奉天大主神 御天守

御多門御廳向  
小天守御櫓御台所

奉行

筑 録

守

五

下

朝

星  
條

信

御供

從

總發行

데

正左

門庭

是

梁

思兵

源

---

丁未有專經宮觀城樓之  
登茲永已酉十一月始成三層突幾基堅固  
公特盡 深慮茲錄其事以傳于無窮  
山本 元恒 譚記并書  
右奉山中筑後守俊信之旨督學

弘化丁未有再經營鐘城樓之  
命今茲鼎永已酉十一月始成三層突竊基趾堅固夷歷万祀而不動柳於此役  
位老公持蠶  
深慮茲錄其事以傳于無窮云

(横約一尺)

基礎工事割栗入れには笙々笛を吹き鳴らし胴突きされたとある。

惣板の間に建場の高さ下の御重床より中の御重板敷まで一丈六尺、外廻り柱九寸角、内廻り柱一尺角、大極柱四本の内二本は一尺四寸角、他の二本は一尺三寸角で、刀槍、鉄砲架、お蔵を設け、四方に縦四尺横一間及間中の武者窓十三ヶ所、東南西側に各五ヶ所づゝの矩形円形の矢狹間を作り、西北を除く角々並に東側に袋狹間（岩石落しとも言ふ）を張出す。東側、西側の二方に入母屋破風を設け坪み下垂懸魚、鰭、裏甲等銅板包み、薨のところ銅板青海波打出し、息板に葵の紋を付つて付く、軒出端枘真より茅負外迄四尺五寸。入口、北側一ヶ所、土戸両開き、此御重南東隅の板敷を除けば床下に道あり、一間ばかり北にあたり東側の壁薄くして紙の如く、これを破き容易に外に逃れることを得る仕掛となる。

中の御重の大き東西桁行八間半二尺一寸五分南北梁行八間二尺五寸この面積七十四坪、懸板の間この板の間より上の御重板敷まで二丈七寸、外廻り柱八寸角、内廻り九寸角、縦四尺横一間及間中の武者窓十三ヶ所、外廻り壁の厚さ八寸、四面に各一ヶ所づゝの入母屋破風を設く（但東西の分唐破風）

上の重の大きさ、東西桁行 五間半一尺 南北梁行 五間一尺

この坪数二十八坪四分、惣板間、板敷より棟木まで一丈五尺三寸、天井内種造り（化粧野地）柱の太さ外廻り八寸角、横二間縦五尺四寸の土戸窓付を四方一ヶ所づゝ付け、四方椽高欄付鍍銅板包み、四壁の厚さ七寸五分、軒の出端桁真より茅負外迄五尺三寸とす。この棟寅より

(25頁へ続く)

(縱約六尺) × (橫約一尺)

# 紀州古建築 めぐり

日比野道男

高野山不動本堂



紀州には両国分寺、薬師寺、高野、根来、粉河の諸寺、日前国懸、籠山、熊野三山をはじめ、古く建てられた筈の社寺があるが、今はその創建当時の建物は見られない。現存するものは鎌倉時代以後の建築のみである。

先ず高野山から見て行こう。

我々が山に登って最も心を惹かれるのは何と云つても、不動本堂である。建久八年の造営というから紀州では最古のもので、三間四面の主堂と其両側に一間三面及一間二面の室が附属している。そして正面両端に方一間の吹流しがある。

なお、主堂の屋根は入母屋造で、両脇の間は前面及背面へかけて縄破風を以て主屋にとりついている。

かくして、ゆるやかな流れと深い軒を持つ檜皮葺の寂びた屋根が古杉の朽ちた葉をのせているのも奥ゆかしい。鎌倉も前期であるから藤原時代様式の優雅が残り、寝殿造の面影を蔭戸にみることが出来、住宅建築を巧に應用した仏寺建築で、傑作だと云われている。

金剛三昧院の多宝塔及経藏も貞応二年の建築で殊に前者は方三間重層、檜皮葺で、下層斗拱間の藝股が簡素で美しい。私は一夜この院に泊りよく掃かれた庭の隅に古杉を背景に立つ、この塔を秘々鑑賞したことがある。

奥の院御廟に近く幽邃な周囲に調和して、方三間単層、宝形造檜皮葺の一切経藏文殊堂が立っている。慶長四年石田三成の建立で桃山時代のものである。

なお、覆鉢山に在る薬師堂と位牌堂は家光の建立で江戸時代のものである。

高野大門への登山山道に当る伊都郡天野村丹生都比売神社の楼門は室町時代の遺構で、檜皮葺朱塗の壮麗なものである。

那賀郡瀬村へ私は見好村から入って行つた。船戸か

らでも麻生津からでも行くことが出来る。山にかこまれた、川の水の美しい村だ。ここの八幡宮の旧神宮寺本堂の大日堂は室町初期の建築で五間五面単層、四注造の素朴な仏堂であつた。

那賀郡根来寺大伝法院の大塔は大師堂と共に秀吉勢の戦禍をまぬがれたものである。大塔は永正十年相輪を上げ、同十二年落成のもので、室町期の再建ではあるが、高さ百十七尺、方四十九尺の本邦最大の木造多宝塔で上



紀三井寺 鐘 樓

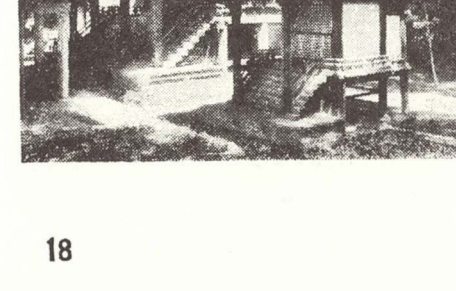
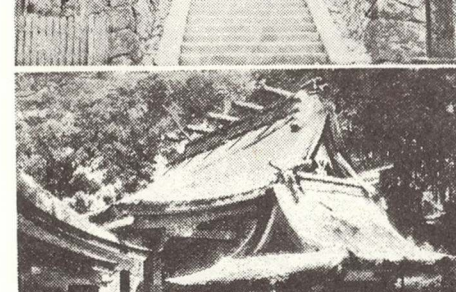
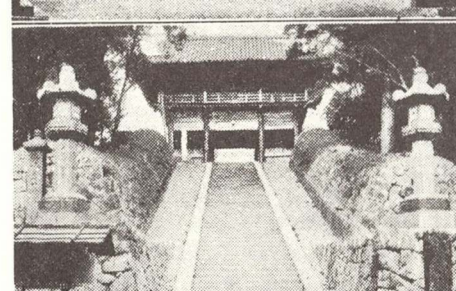
円下方、下層平面は十二本の円柱から成る円形の外側に、方五間の裳階をつけたもので内陣円形、外陣方形である。なお中央柱間三間が板戸、両脇間が連子窓となつている。近ずいて細部を見ると柱も細く方柱で優雅な室町期の氣分に接するが、初重屋根の上に饅頭形をつけて宝塔の肩の意を現わし、全体にはどつしり落ちついた重味を感じる。

凡そ、大塔とは弘法大師が密教と共に唐から傳來した形式で宝塔に裳階をつけたものと云われるが、根来の大塔はその形式をよく伝えたものとして価値高く買われている。

和歌山市に入つて我々は先ず竹垣城天守閣と、その下方、片岡町松生院本堂の戦禍による焼失を悲しみ、次に紀三井寺多宝塔のジェン台風による倒壊をなげかずにはいられない。

天主閣は嘉永三年再建の徳川末期最新様式のもの、松生院本堂は鎌倉中期、紀三井寺多宝塔は文安六年室町期の建築であつた。まことに惜しいことをしたものだ。

今、市内最古のものは、紀三井寺の開山堂である。宝形造であるが後世の修補に原形を改められている。同寺の楼門及鐘楼は天正十六年桃山初期の建築である。朱塗の楼門は高い石段の登り口に立ち、頭貫上の胡粉彩色牡丹蓮華唐草のすきぼりは桃山時代の匂いを漂わしてい



る。石段を登りつくした大楠の下に立つ鐘楼は三間二面重層、入母屋造瓦葺、袴腰で特に異色ありとは云えない。

和歌浦天満宮の本殿は慶長十年桃山期の建立、五間二面単層入母屋檜皮葺で正面向拝上に大きな千鳥破風が設けられている。同じく和歌浦東照宮は元和七年の建立、典型的な権現造社殿で単層檜皮葺の本殿、石の間、拜殿を備えている。江戸初期の建築。

海草郡では加太町の春日神社が一間社流造、檜皮葺の、小さくはあるが優美なもので慶長元年の建立である。

加茂村梅田の釈迦堂は鎌倉期の唐様建築、明治末期の修理で五間五面重層、四注造瓦葺となつた。台輪を頂く太い粽柱、扁楹唐様斗拱尾椎附詰組の軒先、棧唐戸花頭窓の軸部、いずれも曲線の流麗さに敬服する。絵様縁形も美しい。

下津町浜中の長保寺には本堂、多宝塔、鎮守堂、楼門の四棟はいずれも鎌倉末期延慶四年の建立とされる。本堂は五間五面単層、入母屋造本瓦葺。屋根の流れに鎌倉時代の力強さを見る。多宝塔は本瓦葺で上層の屋根は小さく華奢に見える。少し離れた木の間に立つ鎮守堂は一間社流造の小さい神社建築である。総体にここの建物は和風に唐様天竺様をまじえた様式である。

有田郡に入ると先ず箕島町、有田川の向うの山麓に浄妙寺の屋根が光つてみえる。ここの本堂薬師堂と多宝塔が鎌倉末期の建立である。前者は三間三面単層、四注造、本瓦葺で、内部須彌壇は藤原時代を思わせるものがある。後者の内部はもと黒漆地に彩画の描かれていたあとが残つてゐる。

湯浅の町はずれ南広村の八幡神社の本殿が室町時代の建築、三間社流造である。境内社の若宮、高良両社の本殿も共に一間社春日造で、すべて檜皮葺、同期の建立と伝えられている。

更に金屋から入る岩倉村には粟生の薬師堂と法音寺の本堂が室町期の建築とされている。

日高郡では道成寺の本堂及楼門が室町初期の建築である。前者は七間五面単層、入母屋造本瓦葺向拝付で鎌倉の匂を漂わしている。後者は三間一戸重層、入母屋造本瓦葺の仁王門で、六十二階、急傾斜の石段の上に立つ姿は見事である。

遠く離れて東牟婁郡に移る。那智山青岸渡寺の本堂如意輪堂は桃山末期の建立、九間九面単層、入母屋造、柿葺の大建築である。

以上地域的に記載して来たが、も一度これを時代順にまとめてみよう。

鎌倉期の建築は高野の不動本堂、金剛三昧院多宝塔及経藏、加茂の釈迦堂、長保寺の四棟、浄妙寺の本堂多宝塔位である。

室町時代のものは道成寺の本堂及楼門、天野丹生都比売神社の楼門、広八幡の三棟、鞆淵八幡神宮寺の本宮、粟生の薬師堂及法音寺本堂、紀三井寺、開山堂、根来大塔大師堂等である。桃山時代には紀三井寺楼門及鐘楼、高野の一切経藏、加太春日神社、和歌浦天満宮、青岸渡寺本堂等で、江戸時代のものは挙げるにも及ぶまい。(筆者和歌山女専講師、県観光連盟囑託)

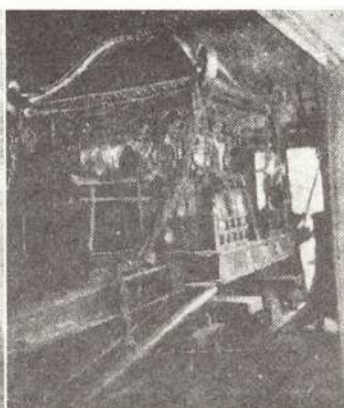
#### 写真説明上ヨリ

1. 紀伊那賀郡鞆淵八幡神社大日殿 (国宝) 室町時代
2. 紀伊高野郡長保寺 (国宝)
3. 那智山青岸渡寺本堂 (国宝)
4. 紀伊道成寺仁王門と六十二段の石段
5. 紀伊有田郡廣八幡本殿



藪苔 方廣作

哭鬼 方廣作



御 輿



猿 方廣作

翁 方廣作

## 和歌祭に就て

今 津 吉 兼

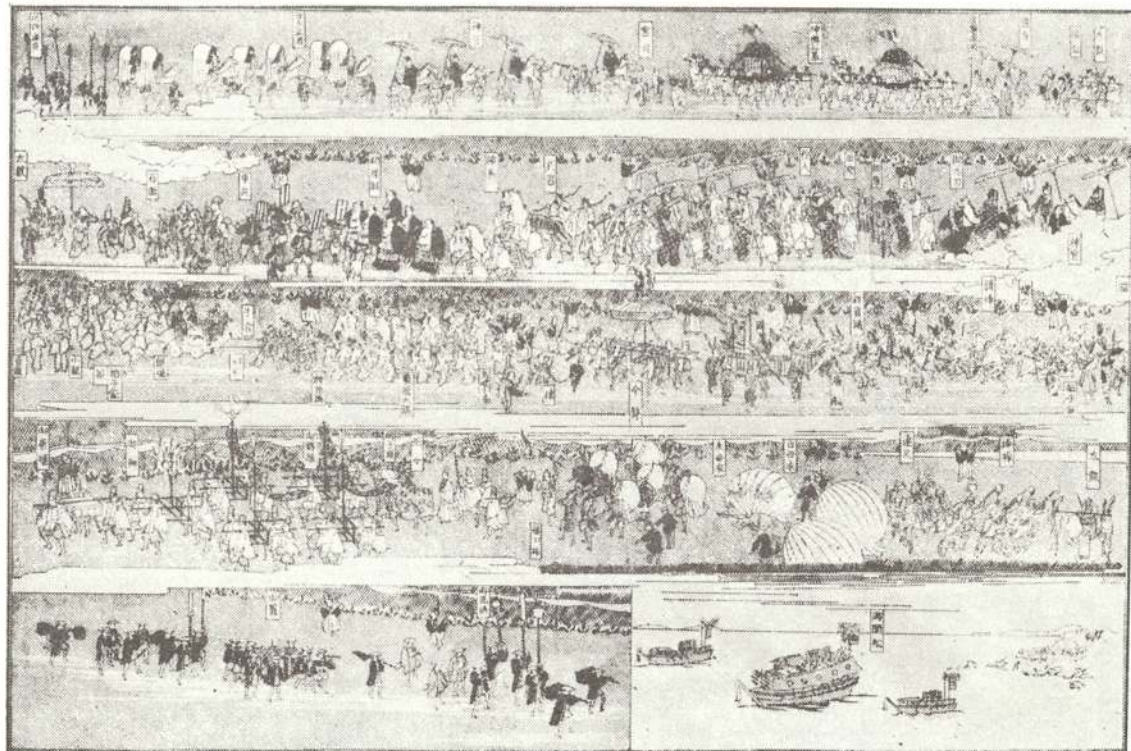
和歌山市の初夏を彩る五月十七日の和歌祭は東照宮祭礼の行列で三百有余年伝統の祭典は諸国の渡御行列の様に唯拜んでいるのと大分趣きを異にして渡御の行列は夫々の芸能を持ち所作をしながら行列が進むので天下三大祭の一として世に喧伝せられている神輿渡御の行列である。

今は絶へないか御輿船と云ふのがあつた、陸上の行列に応じて海上の祭礼が加はり天下絶景の和歌浦を背景紀伊和歌浦東照宮渡御の圖

として陸に海に相応しての行事であつたのである。

この和歌祭は元和八年始めて執行されたそである、当時の状況は南紀徳川史によれば、

御祭礼は毎年四月十七日九月十七日で四月十七日最大祭なり、早朝神前に舞楽あり田楽あり御在国には一の行列にて御参拝被遊畢て御輿遊観所に渡御あり遊観所(俗に御旅と云ふ)は御本社南六丁許出島浦の洲嘴にあり、此の所に仮御殿を設け其の左右に君上の御浅敷より有司



の棧敷諸士の棧敷百間を建て連ね松葉を以て飾りをなす  
依つて松葉棧敷と唱ふ。(貞享五辰年和歌祭礼棧敷初る)  
渡御ありて遊観所にて相撲畢りて還御なり還御の御時所  
作ある後に芸出しをして還る又其時和歌浦に樓船(御関  
船と称する則御座船)を泛へて船歌を奏し鼓を打つて操  
とる海陸調を合せて響き滄溟に渡り竜神も感応すべくや  
あらん是四月十七日の事として此日城中諸司総休務唯  
御留居番頭御留守居番一同当直城中を守り市在の農商皆  
業を廃し我劣らしと和歌浦に蟬集す和歌祭の名は古人四  
方に轟きあれば近国遠在より参観群集亦影しく実に立錫  
の地なき迄に雑沓を極む然共君上親臨の国祭なれば紀律  
肅毫も紛擾を見ず唯々踴躍歡喜を尽して万民終歳の辛苦  
を洗濯するものゝ如く思はれた神輿渡御の式は左の如し  
と云へり、

|             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| ○根来頭        | 根来百人者     | 櫛         |
| ○獅子頭        | 田楽        | ○棒振       |
| ○御旗鉾 七本     | ○神巫       | ○長柄槍 百五十人 |
| ○長刀振        | ○赤母衣 七人   | ○白母衣 七人   |
| 牙僧 五人       | ○運尺 五人    | ○警固 百五十人  |
| 牟鉾          | ○雑賀踊五十人   | ○棒振 六人    |
| ○貝吹 二人      | ○笛吹 三人    | ○大鼓 四人    |
| ○鉦 三人       | ○受棒 四人    | 警固 百八十人   |
| ○唐船 七十人     | ○山伏三十五人   | ○緋鉾 八人    |
| 塩汲 五十人      | 囃方合人数百五十人 | 高砂台       |
| 山路草刈 人数百五十人 | 唐人 五十人    |           |
| ○餅花踊手合餅付    | 囃方あり人数百人  |           |
| 鷺山          | 雲山順踊      | 囃方あり人数百人  |
| 福祿寿         | 花籠 人数三十三人 |           |
| ○立花踊四十二人    | 女人形二十四人   | 石引 五十二人   |
| 沈香焚         | 土俵空陣      | 矢籠        |
| ○鉄砲 三十五人    | 猿舞 九疋     | 蜘蛛舞 七人    |
| 若衆 十三人      | 女形 十六人    | 傀儡師 五十人   |
| ○仮面被七十九人    | 鎧武者十三人    | 町大年寄      |
| ○神馬 三疋      | 御鉾 三本     | 御長柄 三筋    |
| ○御長刀 三振     | 御弓 三張     | 御鉄砲 三丁    |
| ○導樂 四十八人    | 小童子 四人    | 中童子 六人    |
| 大童子 十六人     | 神穢 数人     | 神宝持 数人    |
| ○神主 騎馬      | ○御輿 白丁三十人 | 合九十人      |
| 雲蓋院僧正       | 僧騎馬 十人    | 町奉行       |

## 与力同心 ○三道具

右御祭礼元和年中より始まり右の如くの式なりしも神  
幸の道路に余り人数混雑して式の如く諸事行はれかたけ  
れば寛文六年命により人数を減省せられ夫々株にて省く  
あり又株のまゝにて人数を省くありと記されている。

寛文六年に人数減省せられたとあるか何れを減省した  
か詳かでない。

現在の和歌祭渡御行列は前記中の○印の他は見へず凡  
て人数の如きも節約して居ると思はれるか行列に参加す  
る個人の衣裳は別として東照宮より支出の費用は昨年の  
支出は五拾万円を見したとのことである、行列につい  
ての景状の概略を記すと

一薙刀振り 家筋が決つていてその振り方も四十八手あ  
り使用の薙刀は真剣でないと思はれるか行例に参加す  
る個人の衣裳は別として東照宮より支出の費用は昨年の  
支出は五拾万円を見したとのことである、行列につい  
ての景状の概略を記すと

一赤母衣 十二三才の子供が色どりたる縮緬四五筋を襟  
にかけ美麗に首飾り赤母衣を背負ふので然るべき家筋  
のものでなくては之に加はれないそをであつた。

一白母衣 竹で作つた母衣型柁に白縮緬を覆つてあゝ目  
方は十四五貫もありこれを背負ふて折敷いて自由に左  
右に振り廻すので相当の力のあるものでなくては行ひ  
がたい。

一運尺 女装の様に白粉をつけ巻物織物等を運尺に背負  
ふたもので呉服屋の番頭さんが主に加はつている最近  
は婦人の参加も多いとのこと。

一棒振 鬼の面を被り腰には丸くけの非常に太いものを  
廻し三尺余りの煙草入れを引白の根付杯など異形の服  
装をしたもので棒は炬火になぞらへた赤い総様のもの  
をつけてある尚諸棒といふのが加はつて大鼓に合せて  
棒振り廻し踊るのである。

一雑賀踊 交る交るに片足を上げて竹のさゝらを摺りつ  
ゝ踊る俗にチンパ踊とも云ふこれは和歌山麓の森の合  
戦に雑賀庄の豪族雑賀孫六の踊を擬したものであると  
いはれる。

一唐船 竜頭の屋台船で鳳凰の作りものをのせた華麗な  
もので古調豊かな船歌をはやしながら行行くのであ  
る。(34頁へ続く)

## 理想的床材料

リノリウム



リノタイル

特製リノリウム糊 リノリウム・ワックス

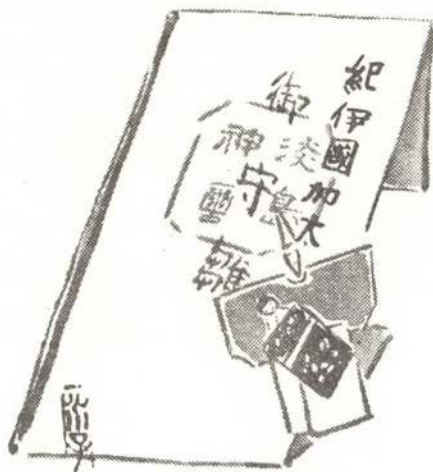
東洋リノリウム株式会社

本社・工場 兵庫県伊丹市伊丹五五八 電話 伊丹 1・51・69

大阪事務所 大阪市東区瓦町二丁目 三和ビル 電話 北浜 375・376 東京支店 東京都中央区銀座四丁目 三和ビル 電話 京橋 1701・2564

# 紀州郷土玩具巡り

松島藤太郎



## ◇加太淡島雛

南海電鉄加太支線の終点加太の淡島神社より出されている守雛がある。縁起を印刷した包紙に包まれた可愛い雛で着物は紅く金の冠をかむつている。即ち神功皇后三韓を征し御凱旋の後、築紫の蚊田で、菅田皇子、即ち応神天皇を産ませられました。そして皇子と共に都へ登らせられる時忍熊王が乱を起して国中を騒がしたので皇子を武内宿禰に託して紀伊国日高に逃れさせられ、皇后は難波をきして赴かせ給う。時に海上俄に荒れ風浪高く御船は木の葉の如く、其上針路を失い如何ともなす事は出来ません。皇后は天に祈り親ら船の苦をとつて海中に投げ入れ神の加護によつて、苦の流れ行くまにまに御船を漕がせられ、遂に淡島に着かせられた其故に此の島を苦ヶ島とも友ヶ島とも名付けたのであります。此の島には大己貴命と少彦名命の二柱が祀られていたので、皇后は金銀珠玉の数多の供え物をされて、絹ぎれで小さい少彦名命のお容を作られて神殿にお納めになったのであります。皇子を生まれた蚊田の地名をとつて加太と云い、元淡島に祀られていたので淡島明神とも崇める様になりました。皇后が産後のお悩みの時に御祈願遊ばされ靈験があつたので、後世に至り懐妊のもの又は安産を希うもの願をかけ雛人形・櫛・笄など奉納する様になりました。

古い書物に当社の神主の宅の茶碗を人知れず持ち帰える時に右の袖口に入れば男児、左の袖口に入れば女児を授かると云うと書いてあります。

## ◇淡島のひきがえる

淡島神社の本殿に向つて左の所に、僊使殿と額のかかつた小祠が



あります。格子戸の中には大きな蒲団を重ねて、其上には備前焼の高さ二尺あまりのと少し小さい雌雄の大ひきがえるが安置されていて其両側には棚を作り大小数多く奉納されています。其内には石造のものや、土製のものなどもあります。

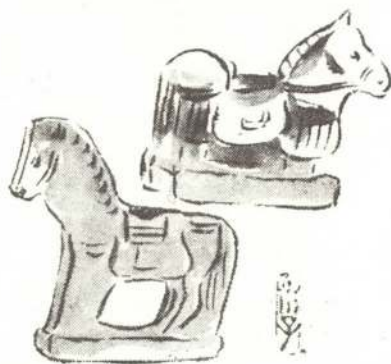
此蝦蟇を祀る由來は、古事記に出ている。大国主命が、出雲にお出の時に遙かの海上から天の羅摩船に乗つて火取蛾の皮を衣服として近寄つて来られた神様があつたので、如何なる神であるかとお尋ねになつたが、何ともお答えがなかつた。お伴の神々も皆御名を知らなかつた。此の時に多邇具久（たにぐく）蝦蟇が申上るには、其れは久延彦（案山子）が存じて居りますと語つた。其れでお尋ねになると、あの方は少彦名命で在らせられるとお答え申上げた。果してそうであるか否かと言うので、神産巢日の神にお伺い申上げると正しく我子であることがわかりました。其れで大国主の命と兄弟となつて、此国を堅めよと言ひ渡されたので、大国主命と少彦名命の二神で此の日本の国を作り堅められたと言う神話があつてそれによつて、同社祭神の少彦名命の使役者として社の傍らに祀り込んだのだと言います。

明治末年までは一切奉納物などはなかつたのが、同四十四年頃に和歌山の某氏が現在の雌雄大蝦蟇を納め其後ち土焼のものを諸人が奉納する様になりました。

此の蝦蟇を奉納すると種々の願事も聞いて下さるし懷中にすれば訴訟事など屹度勝るといつている。又よい事を引くといつて今に信じられて

## ◇和歌山の土馬

徳川の最盛期湊御殿の鬼門にあたる東長町



一丁目正住寺内に鬼門天を祈り参詣を庶民に開放したので広く信仰を集め靈ありとて聞え、其中でも腫物平癒の祈願最も多く年代は不詳ながら古くからこの土馬を借りて「クサ喰えクサ喰え」と唱え乍ら腫物即ちクサの上を撫でて全快の上は更に御札馬一個を添えて奉納する禁厭とする習慣があつた。製作者は和泉の人で、販売者広田卯之助は七十余才、同人五十年間に取扱つた馬の型は十数種、徳川期には八種以上もあつた。或る時代市内の某力士が自分の力量を増進せんものと、麻利支天に土馬を千箇作り是れを千馬と名づけ奉納したもので、其散逸を防がんため、馬の下部に孔をあけ是れに細き竹を一文子に貫き大凡二百個一串として五本ばかり釘づけとして納めたこともありました。

### ◇和歌山の瓦猿



市内栗林八幡宮境内の日吉山王神社があります。此山王山さんから瓦猿を借りて来て神棚にお祀りして安産を祈願します。産婦は勿論一家中是れに祈願をこめ、安産の後ち更に新らしいもの一匹を添えてお礼として返納いたします。桃と安産とを結びつけた事は面白く、顔と桃とはべにがらで茶褐色に塗られ色彩的に感じのよい色調をもっている。桃の外鳥を持つたもの（ぢんべい）を着たものなどがある。明治中期迄市内瓦町の瓦職は内職としてこれを焼き仲々盛んであつたが現在は、野上氏の店先きに外の瓦と共に淋しくなられている。



### ◇紀州の瓦牛

市宮、秋月の日前国懸神宮の末社、瘡神さんえ瓦焼の臥牛を奉納することが古から行われています。牛は草を喰うと言うので子供の瘡物（クサ）などには、社壇に奉納されている瓦牛を借りて来て平癒の後ち、更に新らしいもの一個を求めて二個となしお礼として返納するのであります。頭部に大黒様を戴いたものなど型変りのもの十種ばかりあります。この神宮の南五六町の処にある津秦天満宮へも奉納されてあります。



### ◇和歌祭の笠鉦と長刀

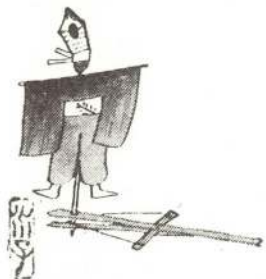
市内和歌浦にある東照

宮は南海の日光とも称され、元和七年紀州藩祖頼宣介の建立で、安康公が祀られてあります。昔は四月十七日に和歌祭と云つて其の祭礼は殊に盛大で有名でありましたが戦時中は一時中止されていました。が戦後は復興されています。祭の前日には、関船及び小早船が武装して戦勝の船歌を唱えて太鼓に合せ櫓拍子勇ましく船舞の式があり終つて夜中に和歌の浦に廻送し、当日には出島の浦洲崎に神幸所を設け、本社よりの渡御の御道筋には棧敷を組み竹矢来を設け、近村からの人出て仲々の賑わいでした。

渡御の行列の中には、乙女、長刀振、赤母衣、白母衣、連尺、山伏、棒振、諸棒、雑賀踊、竜頭鷄首、笠鉦、猿、餅花踊、白引、餅搗、百面、相撲取、田楽など色々あつて、中にも巨大な母衣を担いだ勇壮なる若者、社宝の古面を被つた滑稽なる身振の百面衆なども交つて頗る古雅な祭礼であります。

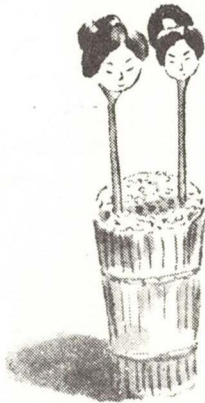
長刀は竹の長さ一尺又は二尺で色紙を巻かれ両端に色紙を細く切つて房をつけ一端に竹に銀藤を貼り長刀の穂先きをかたどつています子供達はこれを振り廻して遊ぶのです。又花傘は高さ六寸位の柄につけている糸を曳いて廻すとくるくると廻る様になつています。

### ◇豆人形



和歌山名玩中の白眉、豆人形の創始者は、実に一篇の哀史の主人公で、かつては東京吉原に住し、節分に遊女の髪で飾る竹のかんざし、宝船を作つて売つていたが後漂々流転して遂に和歌山に墳墓の地を求め、明治三十年頃より独特の豆人形を案出して路傍に出馬し木組で棚を作り柳行李の蓋と底とを乗せて二階を作り、下段には材料を入れ上段に製品を並べて、子供をかり集めて製作実演をやり乍ら二銭から十銭位で売つていた。三番叟、武者人形、馬乗武者、橋弁慶などがありどれも豆を顔にし、眼鼻を省略した所に巧妙な着想があり豆人形の名のある所以でもある。特に三番叟は把手を動かすとキリキリと自転する仕組になつている。

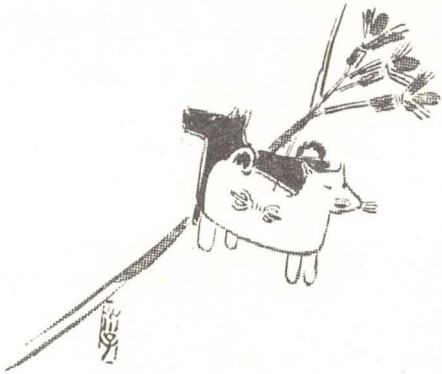
作者は病を得て製作を絶ち貧窮の生活を茅屋に送り、妻は発狂し其後本人は中風に悩みその死骸を横たえ、日の丸の旗を作つては哀れを求めていた。彼の慰めは実に全国各地の玩具蒐集家の寄せられる豆人形懇望のハガキ約二三百枚を懐中し秘かに自慢としている点であり涙ぐましくも又いじらしい有様であつた。



### ◇首 人 形

紀ノ川の磯に俗に東海道五十三次とゆう悠々自適している一団があつたがその中に大阪の百万長者の薬種問屋の主人があつた。人に頭を下げるのを嫌いといゆう天才肌の男があつた。名を秘してせつせと首人形の外数種の人形を作つていた。既に中風を病み半身不随のため片手片足を動かして附近の土をとつて来てはこ

ね、マツチの軸木をさして軸とし白粉の空瓶をあさつてはその中から少しの白粉を集めて顔に塗り、ほほ紅までつけて実に可愛い人形を作つたのであつた。



### ◇高野山の導き犬

弘法大師が唐より帰朝後弘仁七年の夏、密教禅院を開創するに適當な

る土地を得ようと経歴されて、大和国宇智郡の山中にて突然身長八尺許りの筋骨たくましい獵人狩場明神が弓箭を負い毛色美しい黒白二頭の犬を連れていのに出遇いました。御身は此辺りの地理を知らるるならん我望む地形あらば教え給われと聞きました。獵人は紀伊国伊都郡の南に靈地あれば案内せんと、二頭の犬を先頭に山を越え谷を渡つて進まれました。此時案内の獵人も犬も樹蔭に駆けいと共に其姿が消えてしまいました。不思議に思い乍ら日も暮れて、紀の川の畔の草菴に宿をもとめて翌朝此宿の老翁に導かれて山を登つて行きました時に昨日の二頭の犬が姿を現わして靈地に案内しました。突然大師の前え丹生都比売神が現われて山の頂きえ伴いました。此時に老松の上にさん然と輝く何物かを見ました。是れぞ大師が唐より投げた三鉢の金剛杵であつたので其

利験を喜び茲に一大靈場を建てる事になつたのであります。

### ◇御坊の煉物

日高御坊の人形で、同郡塩屋村猪野々、田中豊太郎氏によつて作られている。



作風は概して入念で御所人形の感じがある。天神、鯛戎、戎、鯛狎、鯉拘え、俵持ち、達磨等あり男子を産んだ宅え天神をお祝にあげる習慣があり大小あります。



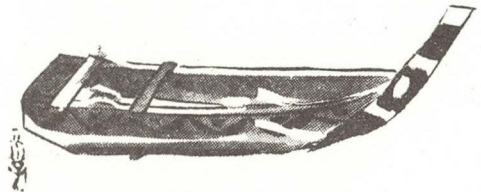
### ◇道成寺の釣鐘

小生の創案道成寺土産で、安珍清姫に因んだもので、入相桜に蛇を巻きつかせた釣鐘を吊したものであります。



### ◇田辺の船魂様

粉河の流し雛によく似た紙雛で、漁船の進水に際し舟魂として祀る風習は海岸の各地に見られるもので海上安全を祈り難航の時は水中に投ずると災厄を免れると信じられている。



### ◇勝浦の大漁船

黒潮の奔流する熊野浦に育つた子供達のあこがれは、海であり、漁船であります。この玩具の喜ばれたものも当然であります。漁船新造の際余材で作られきれいに彩色されている。

以上をもつて主だつた紀州玩具の紹介を終わりますが、この外に野吉人形、紙扇などある。

観光紀州の立場から新しい玩具の創作と、古い玩具で復興せられるものがあつたらいいよにぎやかなものとなるだろう。太地の鯨・高野の石童丸・白浜温泉人形などは、玩具として好材料だと思つている。

(筆者、紀州郷土玩具研究会同人)

# 漆 と 建 築

雜 賀 紀 光

紀州の春は早い。オレンヂの段々畑の山々を遠く霞の中に眺めながら、私は今、漆の町黒江の茅屋にこの稿をまとめている。

ハア、紀州蜜柑は、漆器の盆で、  
ちよいと召しませ  
ちよいと召しませ、艶のよさ  
ソーレヨイヨイ、艶のよさ

どこからか、糸にのせて、漆器音頭を歌っているのが聞こえて来る。

漆、数千年に亘つて、東洋人の親しんで来た漆、今又大いなる洋を渡つて海外に輸出されて行く漆、フランスでは早くも建築に取り入れられ、新感覚を出していると聞く時、本家の我が国では、玉蟲厨子や平等院鳳凰堂、さては日光東照宮の漆塗りの華麗をほこつた往時の夢も消え、洋塗料に押されて影をうすくして居る現状を思い、私はここに建築に於ける漆の再興を唱えざるを得なくなつて来る。

椿の花咲く里の乙女の肌にも似たその光沢を感触それは漆のみの持つ美しさであり、私達を包む建築の塗料としては最高のものである。私は以前和歌山工業学校に職を奉じて居た時、せめて学校の一室でも漆で塗つて見たと思った事があつた。幸いその時、和歌山県庁が新築され、その正庁を漆で塗る事になつた。友人の塗師屋連が県庁の近くにあつた私の家に立寄つて、盃を交わしながら、大いに建築に於ける漆塗りの讃美をやつたのであつた。

漆器の起源は古い。楽浪の遺跡によつて漢代に於ける漆器の盛況をうかがい知る事が出来る。その他、南満洲の牧城駅、外蒙古、甘肅、新疆等からも資料が発見されて居る。我が国では、孝安天皇の御宇漆部連の祖三見宿禰という者があるから古くから発達して居たものと思われる。それが仏教建築の裝飾にはなくてはならぬものとして発達し、鳳凰堂の美しい螺鈿となり、金閣寺の二層三層に見る極彩色、黄金調となつて、世界にはこる日本古建築に重要な役目を果して来たのである。

この貴重な漆の木は、中国の原産であつて、仏印、朝鮮、日本にひろまつた東洋特産の植物である。風薫る晩春の頃、やわらかい葉が太陽の光を一ぱいに受けて伸びゆく姿は、漆を愛する者にとつてたまらなく嬉しい。

黒江の町ではあちこちの庭にこの木を見る事が出来る。

私はこの限られた頁に於て出来る限りその実際について語る事にしよう。建築に於ける漆は、その優雅な事に於て、堅牢な点において、又熱、湿気、酸にたえる点に於て、ラッカー・ペイント等の比ではない。殊に蔦絵や沈金、螺鈿をほどこし得る事や、日本の家具、調度に調和する点に於ては唯一の塗料である。然し現代日本では雅叙園、桃山式展望車、そごうのエレベーター等東洋の古典味を出そうとする特殊な所にのみ使われて、一般住宅や洋風建築には廣く用いられていないのは何故であらうか。その理由としては、第一漆の量の少い事、塗装操作の厄介な事、比較的高くつく事、黒や朱の色調が明朗でなく、中間色的濁色をよるこぶ近代建築にマッチしない事等いろいろあける事が出来るが、その各々については切り開く道はいろいろあると思う。輸入の促進、漆樹の栽培、技術の普及、色調の研究等々。

漆は御承知の如く湿気と温度によつて乾燥せしめる為、ラッカーやペイント或はワニス様に自然乾燥をせしめるものとは、やや趣を異にする。一番乾燥に適しているのは六月の梅雨期でその他の時期は部屋をしめ切つて適当な温度と湿気を与えねばならぬ。したがつて建築に於ける漆塗装は外向面を避け、専ら内向面に施される。前述の様に、近代の建築に於ては往時の如く、黒、朱、金銀よりもむしろ、中間色を要求する。これは朱合漆に顔料を加える事によつて容易に出来るのであるが、彩漆顔料の第一条件として不褐色でなければならぬ。次に日光や熱に対して堅牢な顔料をあげて見る。

紺青(ベレンス) スカーレット 石黄(赤味)(青味)  
紫インキ(ウルトラ、ファスト)(バイオレット N590)  
チタニウム赤三号 レーキ弁柄

以上の顔料を用いて建築に用いる中間色(中濁色調一暗濁色調)の混合法を示して見ると

## ○黄 土 系 統

おちば色(朱合漆100, 石黄10, チタニウム40)  
白 茶 色(朱合漆100, チタニウム40)  
生 壁 色(朱合漆90, 黒10, 石黄10, 紺青10, チタニウム20)  
淡 卵 色(朱合漆100, 石黄20, チタニウム30)  
砥 粉 色(朱合漆100, スカーレット1, 石黄(赤)15, チタニウム30)  
油 色(朱合漆100, 石黄(青)20, 紺青1, チタニウム5)

## ○グ レ ー 系 統

石 版 色(朱合漆40, 黒漆60, 紺青10, チタニウム20)  
銀 鼠(朱合漆80, 黒漆20, 紺青1, スカーレット1, チタニウム35)  
藤 鼠(朱合漆50, 黒漆50, 紺青2, スカーレット1

チタニウム20)

薑 鼠 (朱合漆50, 黒漆50, 紺青10, チタニウム20)

深 川 鼠 (朱合漆90, 黒漆10, 紺青4, チタニウム40)

#### ○茶 系 統

栗 皮 色 (朱合漆50, 黒漆50, スカーレット10, 弁柄10, チタニウム10)

利 久 茶 (朱合漆90, 黒漆10, 石黄(赤)10, チタニウム30)

蠟 茶 (朱合漆50, 黒漆50, 石黄(赤)20, 弁柄5)

丁 字 茶 (朱合漆80, 黒漆20, 石黄(赤)15, 弁柄10, チタニウム5)

ぼたん鼠 (朱合漆90, 黒10, スカーレット5, チタニウム40)

#### ○緑 系 統

オリブ (朱合漆50, 黒漆50, 石黄(青)20, 紺青3)

白 緑 (朱合漆100, 石黄(青)15, 紺青7, チタニウム43)

以上は一例であるがこの調合法の一部崎山閑斎氏の研究による事を附記してこの稿をおく。(筆者・洋画家)

## 漆 工 藝

### 冷 水 清 一

漆工芸は東洋独特のもので、日本の創作ではないが我が国に於て大成した工芸の一つであつて、往事は家具調度的大部分が漆器であり、手廻り品の類にまでふんだんに蒔絵を施したり、或は漆の優れた耐候性と優美な裝飾価値を利用して、神社仏閣は勿論一般庶民の住宅にまで多彩な漆塗装が盛んに行われた。其の代表的なものとしては日光東照宮等があり、観賞的に優美なことは言をまたぬところであるが保存の点から見ても大きな役割を果たしている。

近頃は船舶の船室装飾として漆塗装が盛んに行われているが、将来建築物に対する漆の使用、特に室内装飾に漆の利用面が相当広範囲に開かれるのではないかと考えられる。

和歌山県は漆器の大産地である海南市を擁している関係上、県庁舎の新築に当り庁内の儀式等に使用する正庁を同市の和歌山県漆器商工業協同組合の手によつて漆塗装を施して典雅にして荘厳味を遺憾なく表現して効果を収めている。

塗装箇所は、室の正面並に演壇周囲、扉、腰廻り、窓

枠等にて、壁は壁紙を使用している。

塗装に際しては組合員中の優秀な技術者を動員して従事し、下地錆付四回、上塗三回を施し総布張として全面鱗色研出し仕上である。使用した漆は下地用として約十五貫、上塗に約十貫、計約二十五貫を要している。

海南市の漆器業は古くより紀州塗として其の名高く、現在約五百名の業者を以て和歌山県漆器商工業協同組合を組織して、数百年の伝統と優秀な技術を以て生産に従事し、県の重要産業として和歌山県の産業興隆の一端を担つて活躍している。(筆者・和歌山県漆器商工業協同組合)

(16頁より続く)

末に通りに六尺五寸唐銅緑青吹の鯨を対に上ぐ石垣台上より野棟まで六尺五寸間にて凡そ八間半なり。

小天守の西に御台所あり、北西角に乾櫓(二層)、南西角に天守二之門銃角櫓あり、天守と銃角櫓間に南して二之間(渡櫓門)あり、多門と女牆を以てこれをつなぐ、二の門櫓の木造りなれば俗に櫓の木門と言う。門を入れば枳形あり、左方に石段を上り玄関前中庭に入る。此処に既、鹽藏、水溜、鉛藏などあり、両天守及び多門に干飯倉、弾藥藏などありて不時に備う。

天守常番長屋、同統束櫓、同西櫓、多門は櫓の木門外未々低き地にあり、水の手門、水の手櫓、黄金水の井戸を連ねる中間石垣に横穴ありて西の丸に通ず、水を運び入れる暗洞なりと言はる。

以上旧記をたどつて在りし日の和歌山城を偲んだのであるが、我々の目に残る和歌山城は只戦災前に在つた大天守、小天守、多門、櫓の木門ぐらいのもので、紀州御殿と称された二の丸御殿は明治十八年大阪城内に移されて今は無く、当時豪華を誇つたその他の御殿も総て取り払はれて偲ぶにすぎもない。只六万数千坪の屋敷に残るうつそうたる老木のみ三百年の世の流れを知るだけである。

いま和歌山城再興の世論もあるが、昔の和歌山城を再現するか、昭和の記念館、和歌山の象徴としての新構想を持つかの根本問題を決すべきであるとされている。

(筆者、和歌山市建築課技師)

|                                                                      |                                           |                                                     |         |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------|
| 合理的<br>工法・責任<br>施工                                                   | 防<br>錆<br>完<br>全<br>・<br>中<br>空<br>防<br>音 | 耐<br>震<br>・<br>耐<br>火<br>・<br>軽<br>量<br>・<br>堅<br>牢 | 間仕切・天井に |
|                                                                      |                                           |                                                     | は軽量鉄骨を  |
|                                                                      |                                           |                                                     | 式鉄骨は日進  |
|                                                                      |                                           |                                                     | を御採用下さ  |
| い                                                                    |                                           |                                                     |         |
| 会合社資<br>大阪<br>市北<br>区木<br>幡町<br>三一<br>番<br>電話<br>堀川<br>四一<br>六四<br>番 |                                           |                                                     |         |
| 奥村重兵衛商店                                                              |                                           |                                                     |         |

# 建造物樹木の強敵白蟻に就て

前 田 保 永



今や白蟻問題は著しく世の視聴を喚起し建築当事者を初め世人一般は之が排除予防の方法に腐心するに至

りしは大いに喜ぶべき現象なり。

## 白 蟻 種 類

白蟻は黒蟻とは全く別種であつて本邦に産する白蟻は大体次の二種類である。

### 1. *Leucotermes (Reticulitermes) Speratus*

KOLBE ヤマトシロアリ

本邦各地に最も多く分布する種類にして各地の山林、中自然木の台株や古樹の枯損部に生棲し延いて市街地に於ける梅松桜等の観賞樹は勿論桑茶等の生木に至る迄加害し木柵、電柱等より家屋、畳、器具等相当な蝕害を加へる。

此種は一回体の数多からず女王は自ら歩行し得るを以て常に転々移動して殆ど一定の根拠はない。従て其被害程度は家屋にては土台、柱下部床東大曳根太等大体建物下部の侵害多く常に木材の内部、地中等の暗黒面に生棲する結果、兵蟻職蟻には眼の必要がない外側の掩護通路は小形にして稍々円形の穴を有し其中を往復すこの通路を蟻道又は蟻線と称せられて居る従来の被害は多く此の種にして其加害痕は甚だ不潔である有翅虫の群飛するは四、五月の風間にして数回に及び電柱等にありては頂部に這ひ上りて飛翔す。

### 2. *Captotermes Formosanus* SHIRAKI

イエシロアリ

印度の原産にして建造物並樹木に対し大被害を与へるのは本種であつて本州西部より静岡県下並九州四国に分布せられ逐次東進する傾向がある。

此の種は一定の根拠即ち一大巣窟を構へ此の巣窟より無数の通路を設け、蟻道の延長は七、八十間の遠きに達す、常に暗黒面に生棲し木材の内部に被害するも外部に顕るゝ事なく外視上容易に被害を認め難しこの種は湿気の有無に關せず被害し建築物にては構造下部は勿論小屋組迄上昇し甚だ恐るべきものである試に兵蟻を捕へこれに触るれば頭部の分泌孔より直に乳白色の酸性液を分泌す。

巣窟は多く同類の排泄物、土砂粘土を利用するを以て

加害痕は常に清潔にして巣窟は王及女王の生棲すべき大形の室即ち王室の外は微細なる無数の小室よりなり唾液及分泌液に依り堅く固められ他の昆虫類の侵入を防ぐ群飛して繁殖するは六、七月の夕刻より夜間に及び燈火に群がり期間中数回に分れて飛翔す。

## 白 蟻 の 生 活 法

白蟻は蜂及蟻の類に於けるが如く社会的生活を営むものなる事は既に世人の熟知する所にして其の数時に数万の多きに上るのみならず虫体各自の職務によりて全く其の形態を異にし常に巧妙なる分業法の下に活動しあるは大いに注目に値する所である。扱て斯の如き生活法の下に活動しつゝある多くの白蟻は次の二種の階級により組織せられる。

### 1. 生 殖 体

主として生殖作用を営むものにして之に二種の別あり一を王族と称して常に一社会の中枢となりて個体を増殖する機能を掌り他は補充王族と称して前者が変に遭ふて倒れたる場合之に代り其の社会を主宰し王位を継ぐ、王族は又发育の程度により其の名称を異にす孵化したる幼虫は漸次发育して肉眼にて認め得る翅を備えるに至りたるものを亜成虫と称え、充分发育せる翅と複眼とを備え個体固有の色彩を帯びるに至りたるものを成虫と称す、其の各々雌雄あり、巢外に出て新に一社会を組織し一国の主宰者となりし一対の雌雄を王及び女王と称す。

### 2. 非 生 殖 体

生殖器の形を備えるも全く退化して其用ををなさざるものにして之にも又二種の形態あり、一を兵蟻と称し専ら攻防に任ずる職務とし他を職蟻と称し百般の労働に従事す。

以上列举するものゝ外一巢内には尙個体の若き发育状態にあるものを交えるにより最もよく发育せる白蟻巢内には次の如き階級に属する各種の個体を認める。

イ、王族若くは補充王族 (1対又は数対)

ロ、成 虫 (多 数)

ハ、亜成虫 (〃)

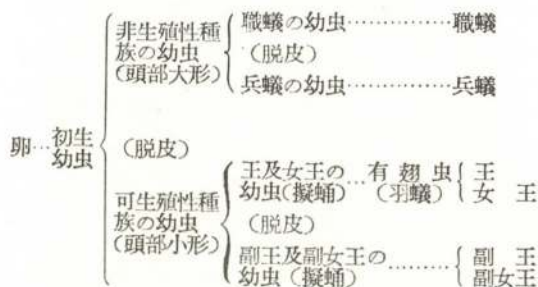
ニ、職 蟻 (最多数)

ホ、兵 蟻 (多 数)

ヘ、各種幼虫

扱以上五種は常に一巢内に完備せるものとは限らず同一種族に属するものと雖も時期によりて或は成虫を欠き或は幼虫を欠如することあり。

白蟻發育狀態即ち変態の順序を図示すれば



#### 被害発見の方法

白蟻は性質上木材の内部に加害して外部に姿を現はさないから何等の準備なく又無定見に探查することは労のみ多くして効果の少ないものである。

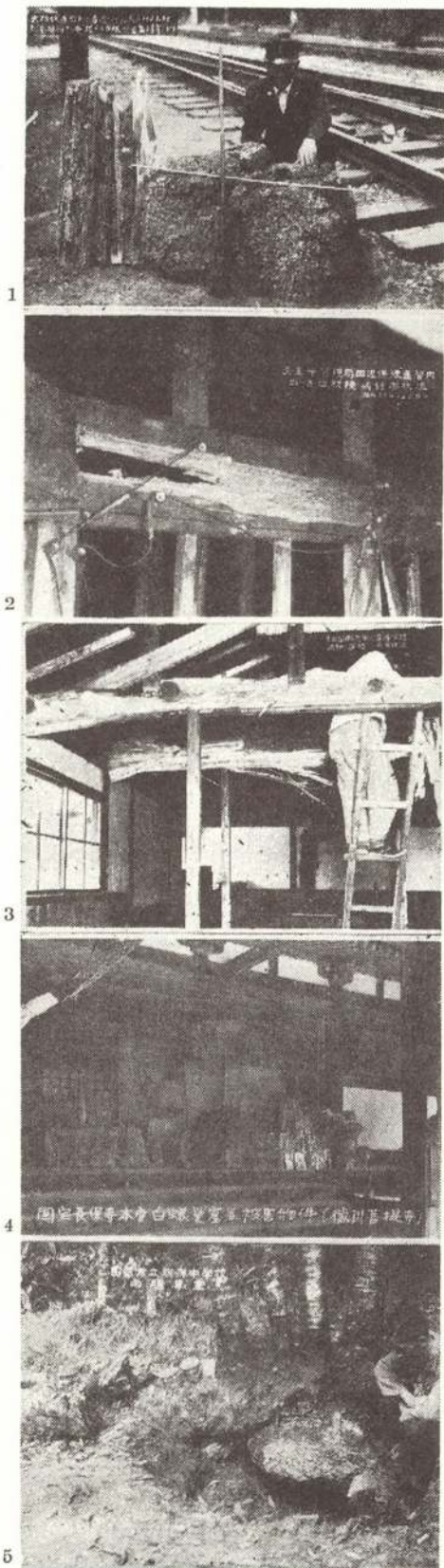
被害を鑑別する簡易な点は、

1. 毎年三、四月頃全身淡黒褐色の羽蟻(有翅虫)が白屋建物の一部或は板壁、樹木の根本又は頂部より飛翔するか、六、七月の夕刻より夜間に渉り全身淡黄褐色の羽蟻が群飛して燈火に集る時は其の建物主樹木に白蟻の棲息する証挺である。
2. 庭園内の樹木は何となく生氣なく一部分の枝が枯れ始める時。
3. 畳や床柱に湿気を帯び畳裏が床板に密着して綴糸は腐蝕し畳の表裏とも破損ある時。
4. 木土台の一部に湿気を帯び多少にても押し挫けた状態にある時(特に柱の下部に多し)
5. 戸、障子等の建具の俄かに歪み建付の不具合になる時
6. 土蔵又は木摺壁の角に湿気を帯び又は亀裂を生じ或は壁落等の異状を呈する時
7. 柱、桁、梁等の建築材を叩き内部に空洞を感じる時
8. 土台石及土台柱等の外部に黄褐色又は黒褐色の粘土様のものが密着し内部に通路を発見した時
9. 柱、敷居、梁、桁等の用材の年令の間に点々細長き穴痕を認めこれに粘土様の黄褐色の物が附着してある時
10. 用材に状波を認めるか棟及屋根に平衡を失へる時等の現象を呈するものである此の外常に注意してゐると自然微細なる微候により白蟻被害を発見することが出来るものである、当被害の発見に当つては白蟻の種類を鑑別しなくてはならない。

我が国に於ける風土気候は白蟻の生活に適し従つて其の被害範囲は増々拡大せられ実に国家的大問題たるべきは決して誇張の言にはあらず。(38頁へ続く)

#### 写真説明

- 1 鉄道局和歌山驛信号所白蟻被害物件
- 2 白濱口驛建築被害状況 25. 12. 8
- 3 和歌山縣田辺高等学校小屋組被害
- 4 國宝長保寺本堂被害物件
- 5 田辺市立明洋中学校白蟻巢窟



## 随想 四間取りの記の一節

伊藤 正文



真ん中を十文字に仕切った四間取りのプランは、日本民家の基本型だが、この四間取りがいつの頃からか動きのとれないきまりになつて、農村生活を規制しているように見える。四間取りでないと生活が成立たないまでに因襲づけられてしまつていのである。

私の棲んでいる村でも、嫁取り、葬式、お念仏と行事の度毎に間の仕切りをあけて、集会の宴席の場になるのである。お膳や吸物碗や皿小鉢まで小さい世帯でも20人前、大きい農家では、100人前も揃えているのが通例で、事ある時には近所隣のおかみさん達が包丁を片手に寄つて来て炊事万端をやるので、その為に10人位が立働くのに十分な広さの土間も必要なのである。近頃、農村の生活改善が叫ばれ、設備の簡易化が問題になつて来たが、一方にはこんな風俗が依然根強いために新築される農家の間取りは矢張り四間取りに変わりが無い。

バラティの好きな日本人の割合に、四間取りに執念があるのは、都会人には想像も出来ないにちがいないし、意外に深い心理的なものがあることに気がつくのである。大和や河内では、土間を四間取りの東寄につけるのが定まりである。これにも因縁話がある。村にいるある工專の卒業生の人に聞いたところによると、「坐敷を東寄りに設けると、その家の主婦が短命である」といつていやがる人が多いし、その小屋組のかけ方や木取り寸法まで仕来りに

従わないわけに行かないのだそうである。封建時代に梁間寸法を格式によつて定めた仕来りと、家相や迷信が結合して石のように健固な住宅の観念が出来ているのである。私のいる大和の村では隣組の中に死人があると、お通夜から7日間、毎晩組中のものが、四間取りの座敷に集り、お念仏をやる。その相当々々に、握



り飯とコンニャク、人蔘、大根、高野豆腐等の煮しめをたべながら、世間話や談話を夜を更かす。飲み手のオッサン連はこの煮しめを着に話がいよいよはづむ。私の家族も疎開して数年、この「レクリエーション」の仲間入をして来たが、全くそれは「レクリエーション」に他ならないのである。口でお悔みをいつていても、あとは慰安の心持になるのである。それ程農民には時間の余裕もなく、明けても暮れても田圃と畑に取

組んでいるのである。四間取りの集会は農民諸君の唯一のクラブであるのだ。映画館へ行くには遠くて電車賃もいる。村の寺で集るにしても何がしかの金がいる。四間取りクラブは金銭無用、畑のものを料理し、おかみさんや娘さんのお酌で、充分楽しめる至極安易な慰安法なのである。だから試みにお寺で発起して文化会を始めても、誰も行かないよになつてしまう。これで見ても、今の農村生活には、どんなに四間取りクラブが「レクリエーション」としてピッタリしているかが想像出来るのである。又日常の農民生活がどれ程味気ないものであつたかも想像されるのである。そして祖父の代や曾祖父の代に工面のよい機会を見て建てた四間取り住宅が、すて傷み、腐朽しかけている。お先祖様に対して、何とかして四間取りの改修もしたいとゆふ念願は人々の共通の心情になつている。だから見られるがよい、何所も村もこの村も、屋根が瓦に、紙障子が硝子に入替つただけの四間取り住宅がこの際とばかりに建てられている。それも、都会のバラック住宅の木材の3倍にも当ると思われる石数の木材が使われている。ある村人に、私が「もつたない程大きい材木ですね」といつたら、「地震に大丈夫でつしやろと思つてまんね」とゆふから、「地震に大丈夫にしても大き過ぎるでしやろ」といつて見たら「ぢさんの頃の家よりはつと小さうしてますのやぞ」と逆襲されてしまつた。

村の老姥達のひそひそ話を聞くと「ギョツ」に値するものがある。次のような……

「あこのお爺ちゃん、もうそろそろ死なはる頃とちがうか」  
いかにも、自然にさうゆうのであ

る。そうして四間取りの家がまだまだ永くつづいてゆくように見える。  
(筆者・工博、大阪市大家政学部教授)

## 建 築 と 音 楽

伊 藤 貞 亮

変った表題であるが近頃感じた事を少し申述べて見たい。音響建築方面は学問としても応用方面も大分進んで来たが、音楽の演奏に関係ある建物の計画に就ては、音楽そのものに対する理解の貧困や、特に音楽が重大要素であるオペラやバレエ等に対する資料不足などのため、計画が甚だ不徹底で中には実際の役に立ち難いが多いのは大変残念である。

近頃でこそ東京や大阪等の大都市では欧米並みと迄は行かなくとも月の中少くとも10回以上どこかの会場で本格的な交響楽が演奏され、オペラやバレエも時々長期公演されるやうになつたが、こんなことは大正や昭和初期には想像もつかなかつたのであろう。そんな時代に計画し建てられた建物の中で現在この種のを、トライアルでなく企業として公演するのであるから、演じる方も聴く方も色々と不都合を感じることが多い。最近ボツボツ建てられる新しいものに対して、この問題に対して余り頭を使つたものが現れないのはどういふわけか。この方面に対する建築家の関心が薄いためか資料もなく、さて実行の際に期限に追はれて泥縄式の調査も出来かねると言ふ状態が真相だろうと思はれる。

先程申し上げた不都合の具体例を述べさせて戴く。在来のは御存じの如く交響楽専用のものはなく各種の用途を兼ねるため、結局どの方面に対しても不満足の結果に終わってしまうのが常である。例へば昭和の初期前の新交響楽団が盛に利用した日本青年館は舞台に真壁風のホリ

ントの様なものと天井を設けてあつて舞台の狭さも問題にしなければ50~60人の交響楽なら演奏効果も比較的良かったが、オペラやバレエは出来ない。日比谷の公会堂は後者は可能であるが、純音楽の演奏の際はあの巨大なジーンドックに絃楽器の繊細な音が吸い込まれて不適當である。昭和10年頃当時の新響の理事小森宗太郎氏(頭が見事に禿げてティンパニーを叩いている人)が小生宅に來られて何とかならぬものかと相談されたので、葡萄棚から懸垂式の反射板を設ける様に忠告してあげた。こんな心配を音楽家にかかることは建築家の恥ではないだろうか、設計当初取外し可能な反射板を再度迄考慮に入れて図面に画くべきではなかつたか。

ホリゾントのない所ではなほ始末が悪い。後部と上部に音が吸はれる舞台等聞いただけでもゾットする。

オーケストラ・ピットの大きさも出鱈目のものが多い。結論から言ふと固定式のせまいものより時に応じて融通性のある仮設式のものがよい

古いもので比較的使用可能なものは大阪の毎日会館のピットである。30~35人位迄使えるが惜しい事には舞台の袖が狭過ぎる。最近出来た京都の公衆会館は舞台は前者よりも幾分楽であるがピット(固定式)が甚しく狭い、せいぜい15~18人位しか入らない。無声映画の伴奏か、小規模なレビューか、ずつと下つてストリップの伴奏位しか出来ない。特にこの種の目的に造られたのなら別であるが、ワグナー物のオペラやスト

ラピンスキーのバレエの伴奏の管絃楽編成を一度でも調べたら、建築家たるものそり簡単には設計出来ない筈である。

資料不足に依る悲劇の一例は最近改装出来た岡山市の公会堂では前記ピットが非常にせまく深さは舞台の真下二米以上ありしかも総コンクリート造りで笠木しづ子が先日東京で張り切り過ぎて舞台からピットに落ちた様にあそこで落ちたらば先ず頭骸骨折と言つた所。 閑話休題

世の建築家諸君、若しくは一部の諸君、舞台芸術に対し今少しく理解と熱意を持つて戴きたい。

研究や調査を日常の業とされている方々の中若しこの方面に興味を感じられる方はぜひ、この方面の資料もまとめて発表して戴きたい。例へば種目に依る楽器の編成表人員等は簡単に解るとしても、舞台に於ける平面的立体的な並べ方、楽器の音の方向性、各楽器演奏者に必要な最小限の水平面積等々。斯く云ふ筆者が実行すれば良いのであるが目下多忙の為め手がつけられない。有志の方々には全幅の御援助を約束する。

( 筆者・京大生活科学研究所 所員  
関西交響楽団演奏者 )

### ◎拂込人不明の件に

#### 就いてお願い

去る4月13日大阪東区上本町郵便局で振替貯金365円払込まれた方の氏名が不詳の為、一時仮受を致しておりますが、お心当りの方は至急に事務局まで御連絡下さい。

日本建築協会

# 一建設業会社の設計部長より

小 田 島 兵 吉

諸君が螢雪の功空しからず、首尾よく学業を卒え、数ある競争者の中から選ばれて、当会社に入られたことは誠に御同慶に堪えない。今から約30年、私共が学校を出た時は、卒業生10人に就職の口が15、6もあつて、自分の好きな所に入ることが出来たが、御承知の様に今はなかなかそうでなく、学校に入る時は勿論、卒業してからも、つらい目に遭わねばならない時代で、その点はお気の毒である。私共の時代に就職口がたくさんあつたということは、卒業生の数が今日に比べて非常に少かつた為であつて、特に口が多かつたわけではない。即ち学校の数が少く、諸君が就職に苦労することを私共は学校に入る時すでに経験したので、諸君がそう損しているわけではない。しかし諸君が入社試験という不愉快な過程を経て来たことは、却つて刺激になつて、生活意欲が一層盛になり、いい結果をもたらすことになるかも知れないし、そうであることを望むのである。

学校を出て諸君が選もうとする職業は、官庁の建築関係の部課であるとか、大きな会社の営繕課であると

か、又は建築事務所であるとか、その他たくさんあつた筈なのに、何故に、昔ならば請負師と云つた土木建築を業とする会社に入つたのであるか、私はそれを知りたいのであるが、若し所謂土建屋なるこの商売がポロくて、うまい汁が吸えると思つて入つたのであれば、それはまことに飛んでもない間違いである。昔人間が無知であり建設業者の少かつた時代には或はそんなこともあつたかも知れないけれども、現在ではこんな割に合わない商売があるかと思われる位つらい商売である。短くて半年、長ければ3、4年にわたつてあくせく働いたあげく損をするという様な商売がほかに、どれ位あるだろうか。

又建設業者は始終酒を呑んで景気がいいではないかと云う人もある。そういう業者もよそこにはあるかも知れないけれども、もはや建設業者が酒を媒介として商売をする時期はすぎ去つていくことを知らねばならない。そんなこといつまでも続けているものは結局自然消滅するであろう。諸君の中には入社試験の時に、建設業は男らしい職業だからと云つた人も居る。男らしいということの意

いと思ふのである。

もはや建設業はスペキュレーションではなく、着実に科学的な検討のもとに仕事を進めてゆく段階に達しているのである。

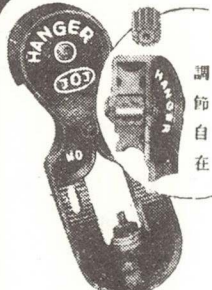
諸君の中には設計をやりたいと云つた人もある。私は設計部長であるからそういう人に同感はあるが、この会社は建築の施工を主とするもので、設計は重要なものではあるがその比重は比較的軽いことになる。従つて若し設計を専門にやるつもりでこの会社に入つたというのであれば、その人は当がはずれたことになる。勿論設計部門が設けてあるのだから諸君のうちの若干はそれに専心して貰わねばならないけれども、大部分は現場に出て働いて貰うことになる。

ただこの会社の方針として新入社の技術員は全部必ず一定の期間設計部で勤務して、現場へ行つても間違つかない様に、図面の引き方、図面の見方等を会得して貰う。早く云えば諸君が学校で教わつたことだけでは不充分であつて、更にそういう教育が要るということである。そういうと諸君の学校の諸先生方に叱られるかも知れないが、学校を出てすぐ現場へ出して間に合ふ人は、これ迄の経験では殆どいないと云つて過言でない。

さて諸君は青雲の志をいだいて勇躍、社会に出て来たのであつて、入社試験の時の諸君の言葉をかりると現在家のない人々のために家を建ててやり、世にすぐれた建物を残すことに激しい情熱をいだくのであるから、その活動については充分期待するのであるが、建築するということには表は派手な響を持つているが、前に云つた通り、その内容は至つてジ

味がはつきりわからないが、もし豪放でたまかで、1か8かのるか反るかのかの芸当をやるといふ様なことであるならば、それも大間違である。

反対にこれ位緻密な頭脳と細心の注意とを必要とし而も果敢であつて忍耐力の要る職業は、恐らく類が少



建 築 (JOT) 金 物

## ドアハンガー

工場・倉庫・ガレージ  
の扉に御使用を御奨  
め致します。

吊下げ重量  
1号-60kg 2号-100-kg

(全国有名金物  
店にあります)

J.O.J. 印ドアハンガーは車軸の周囲は鋼焼入ローラーベアリング装置になつて居りますから丈夫で扉の開閉が軽く取付には吊下げを自由に調節できます。

製造元・大阪・大同鑄造株式会社

ミなものであることに重ねて留意されたい。

諸君は椽の下の方持という言葉を知っているであろうが、ほんとうに体験するのはこれからである。ある立派な建物が誰その設計、何建設の施工と云われるが、その名前の裏に数多くの無名の人々が黙々として或は現寸図を画き或は煉瓦を一個一個積んで出来た血と汗が有ることを忘れてはならない。その無名の人々になることを私は諸君に願うのである。椽の下の方持になつて貰い

たい。地面の下にかくれる基礎になつて欲しいのである。勿論私は諸君の夢を奪うとするものではない。諸君が大いなる希望、大いなる理想をかかげて精進されることは最も望むところであるけれども、人間としての喜びは、所謂立身出世して人の上に立つて号令することではなく、自分に与えられた仕事を完全に遂行し俯仰天地に恥じない生き方をすることである。

諸君は入社式に際して、これから心がけその他仕事の上の注意など

について、社長の訓辭を聞いた筈であるから、私はそれにつけ加える何物もない。

建築のよしあし、部分の治り、批評意見等はこれから当分諸君と一所に働くのであるから、その都度申上げることにするが、ただ一つこれは社長もそれに言及されたのであつたが、健康だけは常に気をつけてもらいたい。この会社の主体は諸君のからだであるから、無理なことのない様充分に注意されること心からお願する。(筆者・大林組設計部長)

## 建 築 雑 観

### 通 亭 四 郎

このごろふと気付いた事だが、大抵の新粧の建物は、横から近づいて行くと色目を使っているが、正面に廻ると急に鼻白んでしまう様だ。どうも立面を持たず、透視図的な動きだけに生きている感じがする。大正のむかし、芸術派の三文小説で、夜の銀座を歩く女たちが、どれもこれも横顔ばかりで、正面は顔がなかつたとか銀狐であつたとか言う神経衰弱めいたのを覚えているが、そんな気持である。明るい健康で機能的だと云う建物を見ても、そんな不健康な感じが拭い切れない。不健康は云い過ぎにしても、少なくとも不安な気分がある。そこでその辺とスペースと一緒に紫煙室の話題に持ち込んでみたい。理窟を言うスペースがないから、いい加減な人物を出して放談としよう。

T、立面や透視図よりスペースが先だと云う通説に従つて論じよう。一昔前、立面の無駄が追放されたのだが、そのあとに居坐つたのはスペースの無駄だ。スペースは、機能上もともとじつとしている筈なのに、勝手に歩き廻ったりしゃべったり、見栄を切つたり無駄ばかりしている。建築屋がスペースを生き物にしてし

まつたので、人間など入つて来ると邪魔にされて危なくて仕方がない。

昔は良かった。人間が向つて、はじめて壁がものを言つたのだから。今はもう、あちこちが飛び掛ろうとしている。(一寸大げさだな)ともかく、道具が動くのは止むを得ないが、スペースが動き廻るのはおかしいよ。

O、スペースがそうなのは、透視図の拡大と建築写真の高角レンズとで、人間の視覚が失はれた気故もあると思う。外国のデザインと云えば高角レンズで撮つた写真の構図を指すわけだろう。透視図もそうだ。懸賞設計など透視図の面白さで決まるそうだが、そう言つたものは、動きを考えないでは面白味がない。そこで視角を飛び出して妙に迫つて来る線が書かれる。現象的でないこうした幾何学的な世界も成程面白い。ルネッサンス以来人智に加えられた新しい世界には違いない。

立体派もシュールもそうだろう。築建も幾何学的に人間のつくるものだから似た様なものだが、三次元と時間とを人間の感覚で見るのだから一寸ちがう。

ところが、二次元のそれらの効果

を実際の建物に押し込むのだから、建築はレンズに屈伏したと云うわけだ。そこで視角外に運動する幾何学的透視図の性格が立面を屈伏させる。そこえもつて来て、内部スペースとなると、眼を内側で廻転させるのだから、いよいよ眼が廻つてわけがわからなくなる。運動感覚と云つても、視覚上の感じに焼き直して写真にするのだから、建築はなくなつたのだ。スピードだと云うので、建物は自動車になつて走らされる。

R、いや、そろそろ変りはじめているよ。有機的だとか環境だとかがだんだん通俗語になりはじめているし、

I、いや、ますます危険だね。今までは、まだ機械的直線的だが、これが妙に有機的だとか言つて、混乱して渦を巻きはじめてたら、ますますアビ叫喚の巷だね。環境と言つたつて、やはり建築屋は、人間の事は考えずに、周りばかりを主人公に仕立てるんだから、それこそ逃げ場所がなくなつて、ますます危険だよ。人間の方で意識して貰つてはじめて環境になるので、建物の方からわいわい「おれを認めろ!」と云つたつて邪魔になるだけだ。第一機能の表現

と云うのが気に喰はん。縁の下の方持ちは機能の働きなのだ。それを表現しようと騒ぐのは、俺の頭の具合を見ろと触れ歩く気狂同様の。機能と機構もとちがえて居る。機構は、自動車にしろ船にしろ、出来上つたらそつと藏い込んで目立たなくするものだ。

T, 少し昂奮しすぎた様だ。まあ

現代流行の自意識過剰が、建物にも出て来ているのだろう。そこで透視図の構成とやらにも不安があるのだろう。商業用建物など、むしろ時代に忠実なのだ。

A, しかし、人ごとの様に言っているが、吾々には元来身近いやり方だと思ふ。展開的と云うか流れ易いと云うか、もともと自ら律する事の

少ないのには、立面的と云うより動き易い方がいいのだろう。コンクリートで言えばスランプの大きい水たぐさんの奴で、融通自在に流れてしまふわけだ。

デザインでも、振動打ちをやる様なコンクリートなやり方は、なかなか難かしい。お互に軽口を叩くひまに、振動打ちを自分に与えよう。

(筆者・神戸工大教授)

## バビラド 3 題

中 尾 保

### ①レイモンド氏を見直す

4月3日の夕刊朝日新聞の記事にホテル・テイトで元ライト氏助手アントニン・レイモンドとしてのその見出しが「美の典型伊勢の神宮」とあつた。興に惹かされて読んで見た。立体派と称したライト氏の流れをくむレイモンド氏にしてこの言葉の出たのを不思議に思つて読んで見ると、米、仏、ベルギー、ソ連の各大使館、築地の聖ルカ病院等は爆撃で焼けなかつたが、まるで子供を残して来たようにハラハラしていたと前程し「世界中で一番美しい建築が伊勢の神宮だと断言する」とあつた。建築学上一番大切なのは「自然さ、明るさ、方角の正しさ、素直さである」と云う意味はちよつとわからぬところもあるが、要約するとアメリカの高層建築は愚劣、日本の国会議事堂は墓場のような。日光はいやらしい、何れも邪道だ、日本の鉄筋コンクリート造のアパートは人間の住むところかとうたがう、実に何れもなつていない。「今下積みになつて居る若い建築家のグループに実権を与えたら一戸十五坪三十万円くらいで最高水準の住宅をマス・プロするだろう。しかし実権が役人と土建屋の手に握られている限り解決は望めない」とはまさにその通りである。次に面白いのはヤマト・ダマシイと

は真に日本的な美を愛する心だと云う意味のことを云つて居る。それは宮城前広場に国際観光ホテルを建てようという計画ほど馬鹿げたものがないとして憤慨し「ヤマトダマシイを無くしたのか! ヤマトダマシイとは何んなものかと聞く日本人もいるが「お伊勢さんへ行つて五十鈴川の水で頭を冷して来い」と云つてやり度い、——以上のことからレイモンド氏は大体解つて居るようにも思へる。本当ならうれしい。

### ②建築士

此度一級建築士の審査は終つたらしい。合格の通知が来たので何だかクスグツタイような気がするが一言物申したい気がする。それは建築士とはアーキテクトであるのべきだのにバウエンデニアーに過ぎないと云

ふことである。一級建築士とは教養の高い視野の広い本当のアーキテクトであつてほしい。あれだけの試験にパスしただけではアーキテクトでなくバウエンデニアーである。

若し小堀遠州が審査を受けたら正に落第というところであらう。一考を要する重大な問題だと思ふが如何?

### ③アブレゲールの下火

アブレゲールの下火アブレゲールと称するクラゲのお化か、アミーブ形のようなものが此節次第に下火になつて来たことは少くとも建築界には慶すべきことである。建築家はもつともつと自重して今後に処してもらい度い。五十鈴川の水で顔を洗つたらあんな答は出て来なかつた筈になる。

(筆者・大阪毎日新聞社建築顧問)

### ◎建築士各位にお願い

本会会員にして一級建築士又は二級建築士に合格されました各位は至急資格かくとくされた年月をお知らせ願います、(会員合帳記入整備の都合上) 日本建築協会、主記

# アスファルト防水工事施工仕様

関西建材会編

(株式会社 明正社 提供)

## 1 陸屋根防水

| 層数<br>種類     | 第1層                                                                                                      | 第2層                  | 第3層                  | 第4層                  | 第5層                    | 第6層            | 第7層                    | 第8層                    | 第9層                    | 第10層                   | 第11層           |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------|
| 振動少なき<br>陸屋根 | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼       | アスファルト<br>フェルト<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼       | アスファルト<br>ルーフィング<br>1号 | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>ルーフィング<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼         |                        |                        |                |
| 振動ある<br>陸屋根  | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼       | アスファルト<br>フェルト<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼       | 網状<br>ルーフィング           | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>1.2貼         | アスファルト<br>ルーフィング<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼         |                        |                |
| 振動大なる<br>陸屋根 | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼       | アスファルト<br>フェルト<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼       | 網状<br>ルーフィング           | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>1.2貼         | ルーフィング<br>1号           | アスファルト<br>1.2貼         | アスファルト<br>ルーフィング<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼 |
| 木造建築の<br>陸屋根 | アスファルト<br>(重目)<br>プライマー<br>0.3貼                                                                          | アスファルト<br>フェルト<br>1号 | アスファルト<br>1.2貼       | アスファルト<br>フェルト<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼         | 網状<br>ルーフィング   | アスファルト<br>1.2貼         | アスファルト<br>1.2貼         | アスファルト<br>ルーフィング<br>2号 | アスファルト<br>1.2貼         |                |
| 備考           | イ、アスファルトは日本工業規格に合格したる製造所製品にしてブロンアスファルト針入度10~20のものを用ふ<br>ロ、プライマー、アスファルトの使用量は1平方米1回の最低基準量を示したるを以て適宜増量せられたし |                      |                      |                      |                        |                |                        |                        |                        |                        |                |

## 2 其他防水

| 層数<br>種類 | 第1層                                                                                                      | 第2層            | 第3層                    | 第4層            | 第5層                    | 第6層            | 第7層            | 第8層                    | 第9層            |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------------------------|----------------|------------------------|----------------|----------------|------------------------|----------------|
| サッシュ及防湿  | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>3貼   |                        |                |                        |                |                |                        |                |
| 一般防湿     | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>ルーフィング<br>1号 | アスファルト<br>1.2貼 |                        |                |                |                        |                |
| 庇及物置     | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>フェルト<br>2号   | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>ルーフィング<br>1号 | アスファルト<br>1.2貼 |                |                        |                |
| 便所谷樋調理室  | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                  | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>フェルト<br>1号   | アスファルト<br>1.2貼 | 網状<br>ルーフィング           | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>1.2貼 | アスファルト<br>ルーフィング<br>1号 | アスファルト<br>1.2貼 |
| 備考       | イ、アスファルトは日本工業規格に合格したる製造所製品にしてブロンアスファルト針入度10~20のものを用ふ<br>ロ、プライマー、アスファルトの使用量は1平方米1回の最低基準量を示したるを以て適宜増量せられたし |                |                        |                |                        |                |                |                        |                |

### 3 地下防水

| 層数<br>種類    | 第1層                                                                                                           | 第2層            | 第3層                  | 第4層            | 第5層          | 第6層            | 第7層            | 第8層                  | 第9層            | 第10層           | 第11層                 | 第12層           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------------|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------------|----------------|----------------|----------------------|----------------|
| 水圧低き<br>地下室 | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                       | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>フルエト<br>2号 | アスファルト<br>1.5貼 | 網状<br>ルーフィング | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>フルエト<br>2号 | アスファルト<br>1.5貼 |                |                      |                |
| 水圧高き<br>地下室 | アスファルト<br>プライマー<br>0.3立                                                                                       | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>フルエト<br>2号 | アスファルト<br>1.5貼 | 網状<br>ルーフィング | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>1.5貼 | 網状<br>ルーフィング         | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>1.5貼 | アスファルト<br>フルエト<br>2号 | アスファルト<br>1.5貼 |
| 備考          | イ、アスファルトは日本工業規格に合格したる製造所製品にしてストレートアスファルト針入度20~30<br>ものを用ふ。<br>ロ、プライマー、アスファルトの使用量は1平方米1回の最低規準量を示したるを以て適宜増量されたし |                |                      |                |              |                |                |                      |                |                |                      |                |

#### 関西建材会々員を募る

旧冬設立した本会は着々其基礎を固めつつ時代の要求に応じんと各般の企画を進めてゐる。建設に関連される各業者多数の入会を待望してゐる。申込其他詳細は建築協会事務局に御連絡下さい。 関西建材会幹事

#### 関西建材会規約抜萃（事務所日本建築協会内）

第1条 本会は会員相互の親睦を図り建設資材の生産販売の増進に協調し関係部門との連繋、併せて日本建築協会と密接不離の相互協力により健全な発達を期し以て斯界並に社会に貢献するを目的とする

第2条 本会は関西建材会と称する

第3条 本会の事務所は当分日本建築協会内に置く

第4条 本会は第1条の目的達成のため左の事項を行う

1. 建材の一般認識普及並びに建材陳列場の開設
2. 事業上の問題解決に協力善処
3. 総合、技術その他の部門との連絡協議
4. 協会誌に建材並びに会員の紹介企画
5. 協会を通じ必要により諸建議その他対外事項
6. 建材名簿並びにカタログその他印刷物の刊行
7. 建材業者の登録制企画
8. 見学、講演、講習会並びに例会大会等随時開催
9. その他本会の目的達成に必要な事項

第5条 本会正会員は建設資材に関する業務を営む者とする。但し特別のものは幹事会の議を経て賛助会員とする事が出来る

第14条 本会員は左に定める会費を前納又は年三回以内に分納する 一ヶ年金三、六〇〇円也

（20頁より続く）

一餅花踊 十二三才の子供によつて優美に可愛く踊つて行くのである。

一仮面被り 百面とも云ふ多分に余興の意味を持つものである。昔は生粋の和歌浦の人で筋目正しい家柄のものでなければ出られなかつたそをである緑組などでも和歌祭の面被りに出たと云へば無条件で受入れたと云ふ、白面といはれる様に誠に面百態である創始以来伝へられたもの多く翁、笑ひ鬼等は方広の作品で国宝級のものであるいはれる。

一相撲取 羽二重葵の紋付袴羽織をつけ美麗の廻しをつ

けた力士である。明治までは紀州力士は必ずこの祭礼に加はつたそをである。

一宮司 東照宮の宮司で正装をつけ乗馬である。昔はこの乗馬は藩主より下賜せられたもので二千石以上の無役の士は乗馬の附属供揃を奉仕したと云ふ。

一神輿 神輿は二基あつて東照大神南竜大神の二柱のものである当日表坂百段の石階を逆落しに昇り下すのは壯観である。

一其他 御神 御唐櫃 御鉢 獅子 巫女 隨身 供揃等は一般諸国の行列に似たものであるが鉦大鼓の打方は一寸変つて居る様である。

附図翁 笑鬼 鯨若 猿 の面は東照宮宝庫に藏せられるもので方広の作品である興は創始以来のものであると云はれる。

尙和歌祭行列の図は宝物絵巻より写真にとりましたが失敗したので簡単なものでまに合せましたことは残念と思ふて居ります。

最後に和歌祭について宝物の見学並に色々質問に答へ下さいました西川宮司に厚く御礼を申上げる。

（筆者・光風工業高等学校教官）

強く優雅な

リグノイド床

テックス  
フローリング  
凱光式通風器



責任施工

田辺工業有限會社

大阪市西区江戸堀上端一丁目五  
電話土佐堀(44) 2677. 4471

建築積算覧 (第14回) 木材石数表 (其の四) (単位一石)

| 寸法(尺) |      | 長さ<br>5.0尺 | 6.6尺   | 10.0尺  | 13.2尺  | 20.0尺  | 26.4尺  | 30.0尺  |
|-------|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 厚     | 巾    |            |        |        |        |        |        |        |
| .33   | .75  | 0.1238     | 0.1634 | 0.2475 | 0.3268 | 0.4950 | 0.6536 | —      |
|       | .80  | 0.1320     | 0.1743 | 0.2640 | 0.3485 | 0.5230 | 0.6970 | 0.7920 |
|       | .85  | 0.1403     | 0.1852 | 0.2805 | 0.3703 | 0.5610 | 0.7406 | 0.8415 |
|       | .90  | 0.1485     | 0.1961 | 0.2970 | 0.3921 | 0.5940 | 0.7842 | 0.8910 |
|       | .95  | 0.1568     | 0.2070 | 0.3135 | 0.4139 | 0.6270 | 0.8278 | 0.9405 |
|       | 1.00 | 0.1650     | 0.2178 | 0.3300 | 0.4356 | 0.6600 | 0.8712 | 0.9900 |
|       | 1.10 | 0.1815     | 0.2396 | 0.3630 | 0.4792 | 0.7260 | 0.9584 | 1.0890 |
|       | 1.20 | 0.1930     | 0.2614 | 0.3960 | 0.5228 | 0.7920 | 1.0456 | 1.1880 |
|       | 1.30 | 0.2145     | 0.2832 | 0.4290 | 0.5663 | 0.8580 | 1.1160 | 1.1870 |
|       | 1.40 | 0.2310     | 0.3045 | 0.4620 | 0.6090 | 0.9240 | 1.2480 | 1.3860 |
|       | 1.50 | 0.2475     | 0.3267 | 0.4950 | 0.6534 | 0.9900 | 1.3800 | 1.4850 |
| .35   | .35  | 0.0613     | 0.0809 | 0.1225 | 0.1617 | 0.2450 | 0.3234 | 0.3675 |
|       | .40  | 0.0700     | 0.0924 | 0.1400 | 0.1848 | 0.2800 | 0.3696 | 0.4200 |
|       | .45  | 0.0786     | 0.1040 | 0.1575 | 0.2079 | 0.3150 | 0.4198 | 0.4725 |
|       | .50  | 0.0875     | 0.1155 | 0.1750 | 0.2310 | 0.3500 | 0.4620 | 0.5250 |
|       | .55  | 0.0963     | 0.1271 | 0.1925 | 0.2541 | 0.3850 | 0.5082 | 0.5775 |
|       | .60  | 0.1050     | 0.1386 | 0.2100 | 0.2772 | 0.4200 | 0.5544 | 0.6300 |
|       | .65  | 0.1138     | 0.1492 | 0.2275 | 0.2983 | 0.4550 | 0.5966 | 0.6825 |
|       | .70  | 0.1225     | 0.1617 | 0.2450 | 0.3234 | 0.4900 | 0.6468 | 0.7350 |
|       | .75  | 0.1313     | 0.1733 | 0.2625 | 0.3465 | 0.5250 | 0.6930 | 0.7875 |
|       | .80  | 0.1400     | 0.1848 | 0.2800 | 0.3696 | 0.5600 | 0.7392 | 0.8400 |
|       | .85  | 0.1488     | 0.1964 | 0.2975 | 0.3927 | 0.5950 | 0.7854 | 0.8925 |
|       | .90  | 0.1575     | 0.2079 | 0.3150 | 0.4158 | 0.6300 | 1.2600 | 0.9450 |
|       | .95  | 0.1653     | 0.2182 | 0.3305 | 0.4363 | 0.6610 | 1.3220 | 0.9975 |
|       | 1.00 | 0.1750     | 0.2310 | 0.3500 | 0.4620 | 0.7000 | 1.4000 | 1.0500 |
|       | 1.10 | 0.1925     | 0.2541 | 0.3850 | 0.5032 | 0.7700 | 1.5400 | 1.1550 |
|       | 1.20 | 0.2100     | 0.2772 | 0.4200 | 0.5544 | 0.8400 | 1.6800 | 1.2600 |
|       | 1.30 | 0.2275     | 0.3003 | 0.4550 | 0.6006 | 0.9100 | 1.8200 | 1.3650 |
|       | 1.40 | 0.2450     | 0.3234 | 0.4900 | 0.6468 | 0.9800 | 1.9600 | 1.4700 |
|       | 1.50 | 0.2625     | 0.3465 | 0.5250 | 0.6930 | 1.0500 | 2.1000 | 1.5750 |
| .40   | .40  | 0.0800     | 0.1055 | 0.1600 | 0.2110 | 0.3200 | 0.4220 | 0.4800 |
|       | .45  | 0.0900     | 0.1188 | 0.1800 | 0.2376 | 0.3600 | 0.4752 | 0.5400 |
|       | .50  | 0.1000     | 0.1320 | 0.2000 | 0.2640 | 0.4000 | 0.5280 | 0.6000 |
|       | .55  | 0.1100     | 0.1452 | 0.2200 | 0.2904 | 0.4400 | 0.5808 | 0.6600 |
|       | .60  | 0.1200     | 0.1584 | 0.2400 | 0.3168 | 0.4800 | 0.6336 | 0.7200 |
|       | .65  | 0.1300     | 0.1716 | 0.2600 | 0.3432 | 0.5200 | 0.6864 | 0.7800 |
|       | .70  | 0.1400     | 0.1848 | 0.2800 | 0.3696 | 0.5600 | 0.7392 | 0.8400 |
|       | .75  | 0.1500     | 0.1980 | 0.3000 | 0.3960 | 0.6000 | 0.7920 | 0.9000 |
|       | .80  | 0.1600     | 0.2112 | 0.3200 | 0.4224 | 0.6400 | 0.8448 | 0.9600 |
|       | .85  | 0.1700     | 0.2244 | 0.3400 | 0.4488 | 0.6800 | 0.8976 | 1.0200 |
|       | .90  | 0.1800     | 0.2376 | 0.3600 | 0.4752 | 0.7200 | 0.9504 | 1.0800 |
|       | .95  | 0.1900     | 0.2508 | 0.3800 | 0.5016 | 0.7600 | 1.0032 | 1.1400 |
|       | 1.00 | 0.2000     | 0.2640 | 0.4000 | 0.5230 | 0.8000 | 1.0560 | 1.2000 |
|       | 1.10 | 0.2200     | 0.2904 | 0.4400 | 0.5303 | 0.8300 | 1.1616 | 1.3200 |

| 寸 法 (尺) |      | 長サ<br>5.0尺 | 6.6尺   | 10.0尺  | 13.2尺  | 20.0尺  | 26.4尺  | 30.0尺  |
|---------|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 厚       | 巾    |            |        |        |        |        |        |        |
| .40     | 1.20 | 0.2400     | 0.3168 | 0.4800 | 0.6336 | 0.9600 | 1.2672 | 1.4400 |
|         | 1.30 | 0.2600     | 0.3432 | 0.5200 | 0.6864 | 1.0400 | 1.3723 | 1.5600 |
|         | 1.40 | 0.2800     | 0.3696 | 0.5600 | 0.7392 | 1.1200 | 1.4784 | 1.6800 |
|         | 1.50 | 0.3000     | 0.3960 | 0.6000 | 0.7920 | 1.2000 | 1.5840 | 1.8000 |
| .45     | .45  | 0.1013     | 0.1335 | 0.2025 | 0.2670 | 0.4050 | 0.5340 | 0.6075 |
|         | .50  | 0.1125     | 0.1485 | 0.2250 | 0.2970 | 0.4500 | 0.5940 | 0.6950 |
|         | .55  | 0.1233     | 0.1634 | 0.2475 | 0.3267 | 0.4950 | 0.6534 | 0.7425 |
|         | .60  | 0.1350     | 0.1782 | 0.2700 | 0.3564 | 0.5400 | 0.7128 | 0.8100 |
|         | .65  | 0.1463     | 0.1931 | 0.2925 | 0.3861 | 0.5850 | 0.7722 | 0.8775 |
|         | .70  | 0.1575     | 0.2079 | 0.3150 | 0.4153 | 0.6300 | 0.8316 | 0.9450 |
|         | .75  | 0.1688     | 0.2223 | 0.3375 | 0.4455 | 0.6750 | 0.8910 | 1.0125 |
|         | .80  | 0.1800     | 0.2376 | 0.3600 | 0.4752 | 0.7200 | 0.9504 | 1.0800 |
|         | .85  | 0.1913     | 0.2525 | 0.3825 | 0.5049 | 0.7650 | 1.0098 | 1.1475 |
|         | .90  | 0.2025     | 0.2670 | 0.4050 | 0.5340 | 0.8100 | 1.0680 | 1.2150 |
|         | .95  | 0.2133     | 0.2822 | 0.4275 | 0.5644 | 0.8550 | 1.1288 | 1.2825 |
|         | 1.00 | 0.2250     | 0.2975 | 0.4500 | 0.5950 | 0.9000 | 1.1900 | 1.3500 |
|         | 1.10 | 0.2475     | 0.3267 | 0.4950 | 0.6534 | 0.9900 | 1.3068 | 1.4850 |
|         | 1.20 | 0.2700     | 0.3564 | 0.5400 | 0.7128 | 1.0800 | 1.4256 | 1.6200 |
|         | 1.30 | 0.2925     | 0.3861 | 0.5850 | 0.7722 | 1.1700 | 1.5444 | 1.7550 |
|         | 1.40 | 0.3150     | 0.4158 | 0.6300 | 0.8316 | 1.2600 | 1.6632 | 1.8900 |
|         | 1.50 | 0.3375     | 0.4455 | 0.6750 | 0.8910 | 1.3500 | 1.7820 | 2.0250 |
| .50     | .50  | 0.1250     | 0.1650 | 0.2500 | 0.3300 | 0.5000 | 0.6600 | 0.7500 |
|         | .55  | 0.1375     | 0.1815 | 0.2750 | 0.3630 | 0.5500 | 0.7260 | 0.8250 |
|         | .60  | 0.1500     | 0.1980 | 0.3000 | 0.3960 | 0.6000 | 0.7920 | 0.9000 |
|         | .65  | 0.1625     | 0.2145 | 0.3250 | 0.4290 | 0.6500 | 0.8580 | 0.9750 |
|         | .70  | 0.1750     | 0.2310 | 0.3500 | 0.4620 | 0.7000 | 0.9240 | 1.0500 |
|         | .75  | 0.1875     | 0.2475 | 0.3750 | 0.4950 | 0.7500 | 0.9900 | 1.1250 |
|         | .80  | 0.2000     | 0.2640 | 0.4000 | 0.5230 | 0.8000 | 1.0560 | 1.2000 |
|         | .85  | 0.2125     | 0.2805 | 0.4250 | 0.5610 | 0.8500 | 1.1220 | 1.2750 |
|         | .90  | 0.2250     | 0.2970 | 0.4500 | 0.5940 | 0.9000 | 1.1880 | 1.3500 |
|         | .95  | 0.2375     | 0.3135 | 0.4750 | 0.6270 | 0.9500 | 1.2540 | 1.4250 |
|         | 1.00 | 0.2500     | 0.3300 | 0.5000 | 0.6600 | 1.0000 | 1.3200 | 1.5000 |
|         | 1.10 | 0.2750     | 0.3630 | 0.5500 | 0.7260 | 1.1000 | 1.4520 | 1.6500 |
|         | 1.20 | 0.3000     | 0.3960 | 0.6000 | 0.7920 | 1.2000 | 1.5840 | 1.8000 |
|         | 1.30 | 0.3250     | 0.4290 | 0.6500 | 0.8580 | 1.3000 | 1.7160 | 1.9500 |
|         | 1.40 | 0.3500     | 0.4620 | 0.7000 | 0.9240 | 1.4000 | 1.8480 | 2.1000 |
|         | 1.50 | 0.3750     | 0.5450 | 0.7500 | 1.0900 | 1.5000 | 2.1800 | 2.2500 |
| .55     | .55  | 0.1513     | 0.1997 | 0.3025 | 0.3993 | 0.6050 | 0.7936 | 0.9075 |
|         | .60  | 0.1650     | 0.2178 | 0.3300 | 0.4356 | 0.6600 | 0.8712 | 0.9900 |
|         | .65  | 0.1788     | 0.2360 | 0.3575 | 0.4719 | 0.7150 | 0.9433 | 1.0725 |
|         | .70  | 0.1925     | 0.2541 | 0.3850 | 0.5082 | 0.7700 | 1.0164 | 1.1550 |
|         | .75  | 0.2063     | 0.2723 | 0.4125 | 0.5445 | 0.8250 | 1.0890 | 1.2375 |
|         | .80  | 0.2200     | 0.2904 | 0.4400 | 0.5808 | 0.8800 | 1.1616 | 1.3200 |
|         | .85  | 0.2338     | 0.3036 | 0.4675 | 0.6171 | 0.9350 | 1.2342 | 1.4025 |

## 会 員 動 靜

### 入 会 者

#### 二 号 会 員

註( )内は御紹介者名

(本 部)

安部建設産業〔株〕 1 福島区玉川町2の83。アポロ印刷所 1 東区北新町2の23。石田商店 1 都島区都島中通6の64(やよひスレート)。(株) 内田商会 1 北区万才町47(中川茂二)。(有) 円満庄次郎商店 1 南区順慶町4の43(山本建材社)。(株) 大阪セメント工業所 1 此花区西九条通1の24(朝日スレート)。川島織物工業〔株〕 1 東区道修町1(小早川美武)。栗山建設〔株〕 1 南区西清水町8。研文社 1 北区堂山町66。田島応用化工(株) 10 西区京町堀上通1の14(保園源三)。大建工業〔株〕 1 西淀川区姫島町1690。(株) 大和商会 1 南区高津町4の73(朝日スレート)。(株) 谷島商店 1 北区木幡町25。玉置産業〔株〕 1 南区心斎橋南詰東入。寺崎硝子店 1 天王寺区茶臼山町111(村田経政)。(株) 範多商会 1 西区川口町12。ホーコク建材店 1 北区天満橋筋2の51。丸尾建材〔株〕 1 西区九条南通1の123。万勢商会 1 西区四ツ橋西南詰(山本建材社)。村尾工業〔株〕 1 東成区神路町2の7(石井建材)。

(和歌山支部)

慈幸塗装店 1 和歌山市久保町2の25(藪本芳一)。日新建設工業〔株〕 1 和歌山市車坂西の丁21(藪本芳一)。

#### 正 会 員

(本 部)

秋田忠治郎 大和高田市旭町2〔自営〕。安藤貞一 京都市中京区中町竹屋町上ル末九町255〔日本ビルダーズ株〕。加藤喜三郎 京都市右京区竜安寺五反町19〔竹中工務店株〕(平田広次)。国宗幸雄 尼崎市の島高田町8〔水木建設株〕(末広実蔵)。沢井正博 奈良県吉野郡上市町。渋谷友一 豊中市柴原239〔八木工務店株〕(竹谷右一)。土井光明 北区若松町35〔日本硝纖株〕。中間廉之助 阿倍野区北島東1の12〔大阪市建築局〕。速水幸雄 此花区高見町3の108〔造幣庁営繕係〕(末広実蔵)。樋口登 東住吉区砂子町167〔大阪市建築局住宅課〕。前野良規 此花区秀野町18〔大阪市建築局住宅課〕。水河昇 堺市三宝町3の19〔尼崎市教育部学務課〕。水谷正幸 北区中之島 大阪市建築局住宅課。宮本皓司 京都市東山区五条上ル西入ル〔吉田建設株〕。安川雄一郎 北区新川崎町1〔造幣庁造幣課〕。安倉安範 天王寺区堀越町119大阪土木工業〔株〕。

(兵庫支部)

伊藤俊男 神戸市兵庫区湊町3の14〔株〕大橋組(馬田広行)。熊田忠次 神戸市灘区岩屋南通5の3 長谷川工務店(秋田行雄)。

(京都支部)

川西惣太郎 京都市上京区智恵光院丸太町下ル〔中野建設株〕(久保春治)。房岡昭一 京都市左京区岩倉中左衛門町162〔同志社營繕〕(増田万次)。古川浩 彦根市巽町48〔滋賀大学会計課〕(水井俊久)。

(九州支部)

河合三郎 福岡市薬院相割町30日本鋼強コンクリート)薄与莊)。木村滋 門司市大里新町海岸通り。村岡惣市 福岡市古小島町50の9〔福岡市役所〕(川関文二)。

(中国支部)

佐藤豊太郎 島根県瀬戸内郡大田村(中田唯芳)。二宮喜佐一 呉市広町吉松二班〔自営〕(本田明三二)。

#### 準 会 員

(本 部)

岡田明信 浪速区下寺町3の56。杉本勝治 守口市滝井西町3の43。森田孝雄 北区梅田町大阪鉄道管理局。

### 退 会 者

#### 二 号 会 員

(本 部)

〔株〕井田商店。大阪瀝青工業〔株〕。岡田商会。阪急室内装飾〔株〕。

(兵庫支部)

〔株〕平綿組。松浦木材〔株〕。

(中国支部)

広瀬文太郎。

#### 正 会 員

(本 部)

石田良一。清水長秀。高橋慎一郎。中西資尚。船木鉄雄 八尾政二。。安田喜好。山盛曙巳。

(兵庫支部)

池内寛二。中西忠雄。松浦勇太郎。(和歌山支部) 栗山薫。中村政視。(中国支部) 辰住重男。升元喜彦。(地方) 畠山隆三郎。(死亡) 志村安馬。

転 居, 転 勤

#### 二 号 会 員

(本 部)

サッシュ・ドアー・シャッター

鋁金製品・自動車々体

部品・車輛・発動機

## 日 本 建 鉄 株 式 会 社

大阪事務所 大阪府西区江戸堀上通二ノ五七  
電話土佐堀④2188番  
本 社 及 東京都荒川区三河島七ノ七八〇  
東京工場 電話下谷8155~8159  
中川工場 東京都葛飾区奥戸本町一〇〇〇  
電話本田190・196・1018  
船橋工場 千葉県船橋市海神町二ノ三五〇  
電話船橋509~511  
丸ノ内 東京都千代田区丸ノ内二ノ三  
営業所 三菱新館内 電話丸ノ内973・4501

新住宅社代理部 北区曾根崎上1の8(株)コマツ商会に変更。

## 正 会 員

### (本 部)

井沢善哉 奈良県北葛城郡下田村北今市。石原達偉 神戸市生田区中山手通6の38。浦辺鎮太郎 西宮市甲東園東河原9の21。大木浩 大正区梅之町4の45大阪鉄工(株)准会員より。木村正夫 西成区新開道3の26。紺谷繁信 府下豊能郡箕面町平尾107の2紺谷武史に改名。柴垣貴雄 東区高麗橋2の9野村建設工業(株)復活。関谷信次郎 池田市新町通1 九州支部より。中尾光夫 府下三島郡山田村大字山田下1302九州支部より。中沢誠一郎 守口市滝井元町3の27。浜口浩三 豊中市新堀大阪郵政局豊中寮。福島栄一 奈良県早智郡五条町井上町。福田亨吉 尼崎市西字南開711。淵本清隆 府下北河内郡四條畷町南野 特調四條畷寮。前川守清 住吉区墨江西6の4。松本宇一 神戸市灘区宮山町2の17。村岡正義 竹中工務店設計部へ転勤。横田彦行 旭区大宮西ノ町6の737。米田良男(株)米田工務店 自営。

### (兵庫支部)

永沢毅一 神戸市東灘区本山町岡本高井39地方より。出口武夫 神戸市東灘区本山町岡本高井68 東海支部より。北村久男 北村工務店 自営。

### (東海支部)

井上憲二 名古屋市中区南鍛冶屋町3の8 日本スレート(株)。大倉田平 名古屋市中区新栄町2 鴻池組名古屋支店。神谷敏一 名古屋市西区大船町1の8 名古屋土木建築(株)。佐藤四郎 名古屋市東区布池町23 東海建築技術事務所。田中彌一 名古屋市東区西二葉町1の30。中村収次郎 名古屋市中区南外堀町6の1 文部省教育施設部。横井勇夫 岐阜市宇佐海草352の1。吉田隆一 鈴鹿市東玉垣町 東畑建築事務所 本部より。吉田善太郎 大垣市久瀬川町6の172の2 大越工務店。

### (九州支部)

天井勇 八幡市中町 八幡市民館新築工事清水建設作業所。岩田巖 福岡市大名町223の60 日本放送電工木部。潮田銀郎 福岡市須崎士平町76。河野道治 八幡市黒崎西筒井大林組宅宅。

### (中国支部)

奥井忠太郎 広島市大平町8の90。河淵元三郎 広島県安芸郡平野村。藤井孝夫 山口市道祖町1。

### (和歌山支部)

秋月正兵 和歌山市和歌浦西の丁 林フサ子方。雑賀利男 和歌山市南細工町17。梅野正春 和歌山市屋形町1の8。

### (京都支部)

井上鴻二 舞鶴市大波下 銭高組詰所 本部より。

### (地 方)

池田武彦 長野県大町若宮 東畑建築事務所 本部より。尾崎敦一 富山県射水郡大門町犬内 東畑建築事務所 本部より。染田藤繁 東京都千代田区丸ノ内1の2 大林組東京支店 本部より。田島武雄 徳島県麻植郡山瀬町湯立 田島製紙工場 准会員より。多田利夫 香川県大川郡松尾村大字田面311。中島猪之吉 東京都杉並区井荻2の32。伴仲信次 東京都新宿区細江町27。日沖一 東京都足立区大谷田町 日立足立製作所 中国支部より。平野八十次 石川県金沢市馬場1の27。本田彌一 北海道札幌市豊本町平岸134。

## 准 会 員

高原康一郎 奈良市磐若寺町27 木南方。寺島一雄 守口市大宮通1の50。西井実 奈良県郡山町西岡町小川石松方。三崎淳府下中河内郡天善町堀6。

(27頁より続く)

近代の白蟻の被害は遍く周知せられ其実例を挙げれば実に驚くべき記録となる。

白蟻に対する対策としては単に建造物の予防施設並被害物の駆除をなすのみに止らず進んで之が繁殖を防止し被害を絶滅せしむる覚悟を以て之が実現を企図するには白蟻に関する一般知識を国民に普及し伝染病予防規則の如く、或は建築基準法の如き白蟻予防駆除に関する法規を制定し家屋の建築に当りては耐蟻建築を強制する等官民協力して建築物の保存期限を永からしめ我が国に於ける山林を保護し国富を増進せしめるには木造建築を主とする我が国にありては焦眉の急務である。

(筆者、前田白蟻研究所長)

写真 前田白蟻研究所



# ペデスタル杭

## 太洋組株式會社

大阪市北区蛸笠町堂ビル

電話堀川 951 1820.

## 会 務 (四月分)

**都市不燃化促進連合会** 4月3日於朝日事務所連合会開催、渡辺幹事長外出席、国会へ法案の提出促進につき協議。越えて5日と9日於分室、松井、中沢外少委員会開催検討23日3時於朝日事務所にて、本連合会と東京不燃化同盟、古賀、玉木兩理事と合同会合12名、今後の促進方につき東西連絡協調促進につき協議を進めた。

**建材部会** 4日正午於朝日事務所池田会長外出席、総会及び事業等協議、19日と26日朝日にて総会準備を協議した。

**技術部と建材部会** 19日3時於朝日事務所、置塩建築事務所長外設計関係各位と、大同鑄造外建材関係者集合最近資材の動向価格及需給等につき両者連絡懇談をした。

**京都支部** 6日於事務所にて松井支部長、白石、本川幹事等集合、諸般協議12日3時於水道会館。役員会開催に関する諸事項及び支部事務所移動の件等につき協議の同月23日同所にて総会開催、松井支部長外各出席、25年度決算報告、26年度予算案承認、役員改選別項の通り決定、事務所所在を京都市内随意に移動出来る事に規約改正決議した、(因に従来の事務所を近く水道会館内に移す予定をも協議した)

**25年度理事会** 18日正午於建設会館3階、竹腰会長松久保監事外出席、25年度決算承認、申継事項検討其他残務整理事項を協議し、竹腰会長より1年間の協力支援に対し感謝の辞を述べられ旧理事会を閉じた。

**理事会** 18日2時於建設会館、竹腰会長、大林、東畑副会長、松久保監事外理事10名出席、竹腰会長26年度理事会として協力方を願う旨の開会挨拶后、下記の議事を了した。

(1) 理事分掌、別表の通り協定 (2) 主記、主計、編集の定数を運営に便ならしめる様次回評議員会に提案する事を申合せた。(3) 理事会定例日を本年度は第2水曜日2時と申合せた。(4) 理事会は定員なきも凡5.6名集合の時会議進行を申合せた。(5) 申継事項を引継ぎ検討。(6) 入退会詮衡 (7) 委員会構成委員委嘱方を主記会に一任。入会中の大阪会工議所より申越の会費値上を承認し修理事費部附は保留。(8) 建築士会の発展を予想し今後協会の在方につき懇談引継ぎ検討申合せた、建築と社会の在り方につき意見交換前項に関連尚研究する事とした。記念事業建築会館問題を論じた。

**主記会** 18日4時於分室、中野、青木、池田、小林理事出席、主記分担事項決定委員会構成其他諸般協議、定例を毎月第1水3時と申合せた。

**見学会** 24日2時大阪女学院、会勢幹事主催に係る市内東区仁右衛門町ゲオ・リズム設計上記コンクリート建築学校建築を見学、会する者10名誌上会告周知不十分のためか近來稀に見る小敷参加であつたのは誠に遺憾であつた。

**編集委員会** 20日3時於朝日事務所、白石、岡田、竜沢谷口理事、大和常務理事、沖田係長、会合委員長、白石氏互選進行、定例日、委員委嘱、6月号編集其他協議

26日3時於朝日事務所、白石委員長谷口理事福田、西川、今西、各新委員及大和理事、沖田係長出席委員長より新年度1年間の企画副案を審議次回委員会に提出と決め6月号をホテル特集とする。

**関西建材会行事** 建築協会建設資材に関係を持つ各位を以て組織されている関西建材会は昨年11月葬会式を揚げ爾來稍々其基礎を固めつつ本会建材部として活動の域に進んでいるが年度始の行事として下の通り催しをした。

時局講演会、27日3時於大阪建設会館  
大阪毎日新聞社経済部次長、神前明利氏

**總會** 同日4時同所、25年度決算事業報告承認、26年度予算案審議会長以下役員改選を行つた後懇親会を開き今後事業計画向上発展を期し盛會裡に散会。

## お 知 ら せ

### ☑見学通知に就て

通信費節約のため本部及支部の見学会通知は特別のもの外出来る限り誌上面会告を以て代へます。誌上面告は頁の都合により一定としないですが普通本文中余白又は本文の終りを予定している。時に色紙表紙の裏の一般広告余白に掲載いたしますから毎号会誌は一通り、御閲覧下さい、(会勢委員会)

### ☑会計事務員移動に就て

従来分室会計女子事務員として数年勤務中の中村千恵子君事此度一身上の都合で辞職帰郷代りとして平木都子君を採用いたしました、(主記)

### ☑事務囑託解僱の件

前号会告の通り広告事務と集金の一部を囑託していましたが福永喜一、祖川重文両名は去る3月限り解僱しています。為念再掲(主記)

# 告 白

## 役員當選に関する件

昭和26年3月29日開会の評議員会に於て副会長並びに理事の選挙を執行いたしました結果下記の通り夫々当選されました。

| 副 会 長     |             |           | 理 事       |  |  |
|-----------|-------------|-----------|-----------|--|--|
| 大 林 芳 郎 氏 |             |           | 東 畑 謙 三 氏 |  |  |
| 青 木 友 一 氏 | 浅 海 治 平 氏   | 池 田 達 雄 氏 | 岡 田 孝 男 氏 |  |  |
| 斉 藤 光 夫 氏 | 鈴 木 一 幸 氏   | 錢 高 輝 之 氏 | 竹 中 鍊 一 氏 |  |  |
| 谷 口 尙 武 氏 | 中 野 順 次 郎 氏 | 伴 潔 氏     | 日 野 勝 好 氏 |  |  |
| 藤 木 正 一 氏 | 南 長 吉 氏     |           |           |  |  |

## 各支部選出評議員當選の件

各支部選出の評議員は夫々の支部に於て下記の通り当選されました。

|       |             |             |           |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| (東 海) | 大 倉 由 平 氏   | 中 村 收 次 郎 氏 | 吉 田 孝 氏   |
| (京 都) | 館 林 熊 司 氏   | 森 口 清 氏     |           |
| (兵 庫) | 桑 田 正 一 氏   | 新 名 種 夫 氏   | 伴 潔 氏     |
|       | 広 田 穰 太 郎 氏 | 古 塚 正 治 氏   | 森 田 康 次 氏 |
| (和歌山) | 栗 林 一 馬 氏   | 布 袋 国 雄 氏   | 藪 本 芳 一 氏 |
|       | 渡 辺 榮 藏 氏   |             |           |
| (中 国) | 飯 塚 源 吉 氏   | 今 津 重 藏 氏   | 鈴 木 広 好 氏 |
|       | 曾 根 田 彰 氏   | 松 田 実 氏     |           |
| (九 州) | 伊 藤 武 文 氏   | 篠 原 政 次 郎 氏 | 深 尾 実 郎 氏 |

## 旭硝子株式会社尼崎工場見学会

日 時 五月二十二日(火)午後二時、晴雨不論  
 集 合 所 阪神電車出屋敷駅前、時間勵行  
 申込締切 五月十九日迄(要会費金30円)  
 但工場の都合で予定人員に達した時先着締切  
 見 学 先 所 在 尼崎市西向島町(阪神出屋敷駅下車南一丁東入  
 工場建物 生産工程、種類、数量、価格等説明聴取后現場見学。

家庭にオフィスに日常吾々が見馴れている硝子がいかなる工程で出来ているかを見るだけでも興味深いが更に後戦の復活状況其他につき見聞する事は建設に関係する者の見通し難い見学と信ずる、硝子工場の見学は本会として十数年振りである今般同工場関係者が特に本会の希望を容れ見学の便宜を与えられたこの好機を逸せず御申込あらん事を待望する。

○工場終業時間の都合上集合時間特に勵行して下さい。

○遅参の方は直接工場へお越し下さい。

○参加者は必ず会員章着用願います。

会勢委員長 松 村 雄 吉

## 編 輯 后 記

あらとんと青葉若葉の日の光、たつた夫れだけで縋てが云い尽されたような今日此頃。

新緑の和歌山特輯号を御送する。

会員諸兄の御活躍も又此の五月の如く潑瀾たる事と存じ「建築と社会」も、新委員の編成を以て即ち、白石博三委員長を初め谷口尙武氏、瀧沢真弓氏、岡田孝男氏、竹中鍊一氏、山本竜太郎氏、南長吉氏、日垣市太郎氏、福田朝生氏、西川真澄氏、今西茂雄氏の11氏に依る新しき企画に依て諸兄の御期待に添われるものと信じます。

尙、昨年度の大林芳郎委員長の御業績誠に厚く又名14氏の熱烈たる御努力も深く会の歴史に記さるゝのと存じ此の美しき枝わ、愛会諸兄の心情に依り、更に新芽を強よく清よく延びて行かんことを。

## 建 築 と 社 会

第 3 2 輯 第 5 号

売価 1 部80円(送料共)

昭和26年4月25日印刷・昭和26年5月1日発行

編集発行人 戸 川 弘

発 行 所 社団法人 日本建築協会

大阪市北区中ノ島3ノ3朝日ビル  
 電話 北 浜 ② 1334~9 番  
 振 替 口 座 大 阪 39975 番

大 阪 市 北 区 堂 山 町 6 6  
 印 刷 者 網 野 栄

大 阪 市 北 区 堂 山 町 6 6  
 印 刷 所 研 文 社 電話 ② 2056 番

●第三二集 第五号 掲載広告一覽 (掲載順)

日新建設工業  
加山組  
田中建設  
高西組  
中原組  
前窪工務店  
小池組  
浅川組  
島村建築事務所  
関組  
前田白蛾研究所  
梅野建築事務所  
井端組  
鉄道建設興業  
小向商会  
上山商店  
笠野染工  
桃の井  
協和製作所  
久保商店  
昌和建設  
栄組

大西建設  
中央建設工業  
榊田組  
西本建設  
海南木材  
北山組  
紀陽木材  
萩原組  
富士木材商会  
島田組  
かじ亀鉄工所  
山本徳太郎商店  
米惣山本商店  
小村ガラス店  
鳥羽伸線製釘工場  
東洋木工製作所  
尾藤伸線製釘工場  
木地田商店  
吉田金物  
小野田電気商会  
太田幸商店  
出来商会

土屋(瓦新)商店  
竹庄商店  
㊤瓦商会  
小嵐商店  
石本美治商店  
恩賀建材店  
日野製瓦工場  
池内建材店  
成瀬商店  
慈幸塗装店  
三和塗装店  
二葉建装社  
岩橋商店  
大洋スレート  
貴志青写真工業所  
和歌山スレート  
ツジャ商会  
七福醸造  
上出水道部  
東邦荘  
三晃物産  
栗山板硝子店  
三機工業  
大阪城口研究所

大阪電気商会  
桐田商会  
齊久工業  
須賀工業  
西原衛生工業所  
第一工業  
建材社  
三晃商会  
栄興商会  
近畿電気工事  
立花商会  
ヤマト電気商会  
スタビラー工業  
東海電気土木  
浅海電気産業  
内外土木建材社  
大島応用化学工業  
福屋工業所  
内外建材工業  
日新工業  
関城化学工業所  
大阪コンベス建材社  
日本セメント防水剤製造所  
ライトラバー興業

産業スレート

金剛商会

高野アスファルト工業

三高製作所

岡居宇一商店

鈴木シヤッタ工業

理研サツシュ

興亜建材工業所

中川ラス製作所

室谷商店

江昌工業所

片山鉄工所

福島商事

大仏組

ナニワ瓦本店

芦屋左官工業所

万勢商会

尾北商店

神治屋

水島商店

樫野石灰工業

米谷建材店

宝珠園

コーサイ化学工業

吉田芳雄商店

三舟窯業

満点製作所

川岸窯業

平山円治商店

三幸商会

北尾商店

新京建材社

④タイル営業所

明正社

田村商会建材部

関西塗装工業

大和建設工芸

天王寺木工

ライト青写真工業

ライト製作所

矢橋大理石商店

小島工業

大阪防水建設社

東建商会

碓組

古石床材店

太田善商店

片倉の鋼管

大阪建材工業

山本建材社

浪速建材工業

内外アスベスト

油脂化工社

建材信和会事務所

野沢石綿セメント

宇部スレート工業